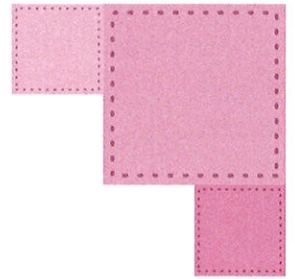


- ウェーブロック
- 4本糸・3本糸・2本糸オーバーロック
- 5本糸インターロック
- チェーンステッチ
- カバーステッチ
- トリプルカバーステッチ



NUIKOUBOU

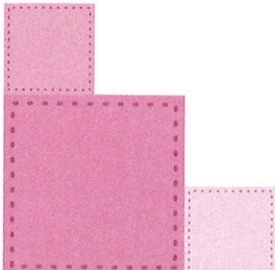
縫工房

wave

ご使用のてびき
Instruction Manual

お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。



安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。

このミシンは、日本国内向け・家庭用です。

FOR USE IN JAPAN ONLY



警告



感電、火災の恐れがあります。

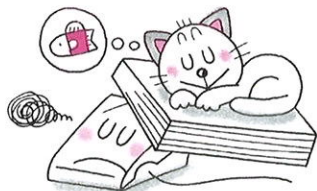
- ◇一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◇使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。



注意



感電、火災、ケガの原因となります。



- ◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。

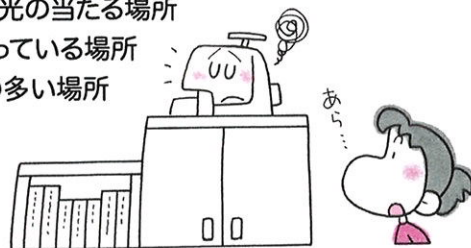


- ◆お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、安全に対し十分に注意を払ってください。



- ◆以下の場所での使用および保管はなさないでください。
 - ・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
 - ・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所
 - ・高い場所 ・お子様の手の届く場所 ・湿気の多い場所

- ◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。



- ◆以下のときは、必ず電源を切ってください。

- ・メスの交換をするとき
- ・針糸やルーパー糸をセットするとき
- ・針板を交換するとき
- ・押え金を交換するとき
- ・ランプの交換をするとき
- ・針を交換するとき

※ランプの交換は、ガラス部分が冷めてから行ってください。

- ◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はしないでください。
- ◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき
 - ・落下などにより破損したとき
 - ・ミシンが濡れたとき
 - ・異常な臭いや音がするとき
 - ・正常に作動しないとき
- ◆操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤、ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
- ◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
- ◆操作時は、ミシン本体のカバー類(メスカバー等)はすべて閉じてください。

もくじ

□ 安全にご使用いただくために 1

共通編

□ 基本縫い一覧 3

⑦ ご使用になる前に 4

② 各部の名称 5

③ 縫うための準備 6
アンテナのセット/コントローラーの
セット/糸のセット (ベビーネットの
使い方・駒受けの使い方・増設糸立台)

④ 試し縫い 7
縫い初め/縫い終わり/「空環」の始末

⑤ 縫い目調節とメスの固定 10
かがり幅の調節/送り目の調節
/メスの固定/押え圧力の調節

⑥ あこ〜でおん (差動) 11

オーバーロック編

⑦ 「オーバーロック」の糸かけ
糸かけ全体図 13
エアスルーシステムの使い方 14
下ルーパー糸 15
上ルーパー糸 16
右針糸・左針糸 17
太い糸のかけ方 18

⑧ 「オーバーロック」の縫い方
2本針4本糸ロックの縫い方 19
1本針3本糸ロックの縫い方 19
巻きロック(標準)の縫い方 20
巻きロック(変形)の縫い方 20
1本針2本糸ロックの糸かけ 21
1本針2本糸ロックの縫い方 22

ウェ〜ブロック編

⑨ ウェ〜ブロックの糸かけ
糸かけ全体図 24
エアスルーシステムの使い方 25
下ルーパー糸 26
上ルーパー糸 27
右針糸 28
太い糸のかけ方 29

⑩ ウェ〜ブロックの縫い方
「ウェ〜ブロック」の縫い方 30
「ウェ〜ブの巻きロック」の縫い方 30

カバーステッチ編

⑦⑦ チェーン/カバー/トリプルカバー
ステッチの切り換え 32

⑦② チェーン/カバー/トリプルカバー
ステッチの糸かけ
エアスルーシステムの使い方 33
チェーンルーパー糸 34
チェーン針糸 35

⑦③ チェーン/カバー/トリプルカバー
ステッチの縫い方
「チェーンステッチ」の縫い方 36
「カバーステッチ」の縫い方 37
「トリプルカバーステッチ」の縫い方 38

⑦④ 実用縫い
標準押えでテープを入れる 39
カバーステッチの裾縫い 39

インターロック編

⑦⑤ 「インターロック」の縫い方
「インターロック」の縫い目について 41
「インターロック」の縫い方 42

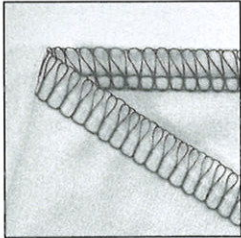
メンテナンス編

⑦⑥ メンテナンスについて 44
針の交換 44
メスの交換 45
掃除と注油について 45
ルーパースレッダーの使い方 45
修理を依頼される前に 46

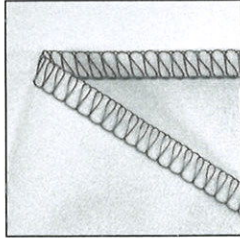
基本縫い一覧

このミシンでは下記の縫い方を基本としたソーイングをお楽しみいただけます。

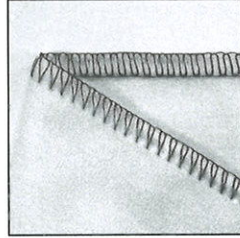
オーバーロック



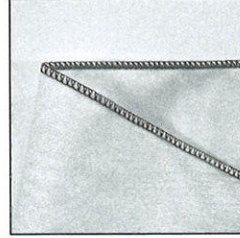
2本針4本糸普通ロック



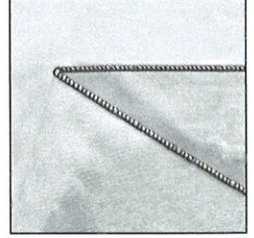
1本針3本糸普通ロック



1本針2本糸普通ロック

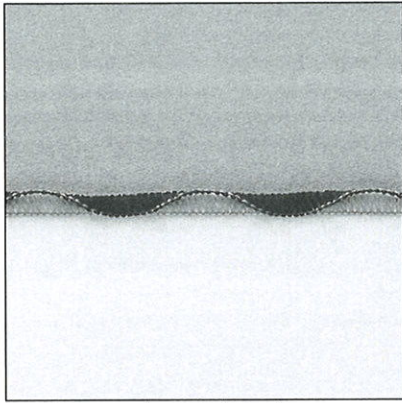


標準巻きロック



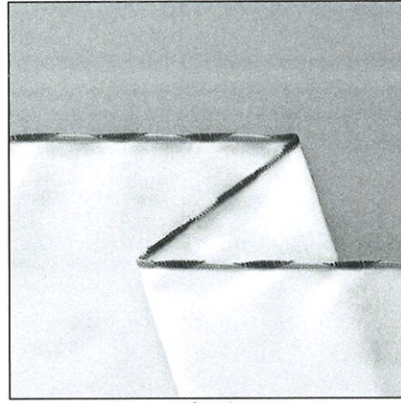
変形巻きロック

ウェーブロック



ウェーブロック

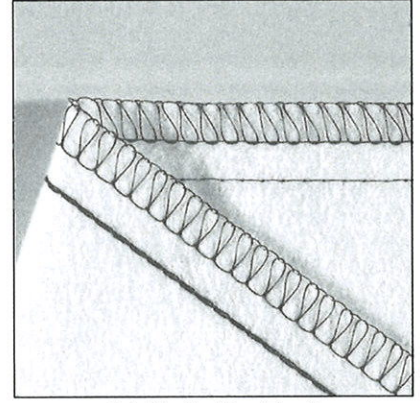
縫い目に波状模様を演出。ラメ糸やウーリー糸、飾り糸、その他さまざまな糸を使えばさらに効果的。



ウェーブの巻きロック

ジョーゼットやオーガンジーなどの薄地の縁をひと折りしながら細くウェーブ縫いしていきます。

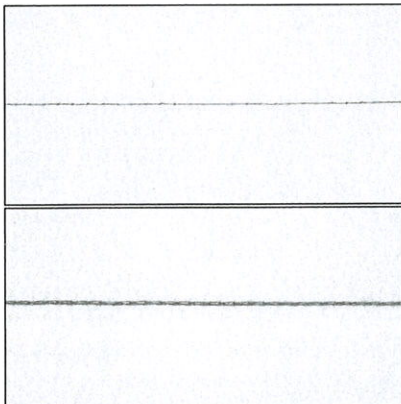
インターロック (合わせかがり)



5本糸インターロック

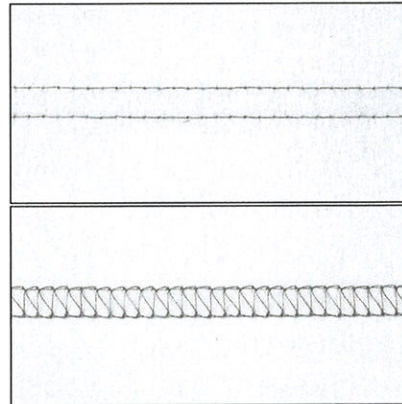
(1本針3本糸オーバーロック + チェーンステッチ)
シャツやブラウスの脇縫いに多用される、丈夫なステッチです。

チェーンステッチ / カバーステッチ



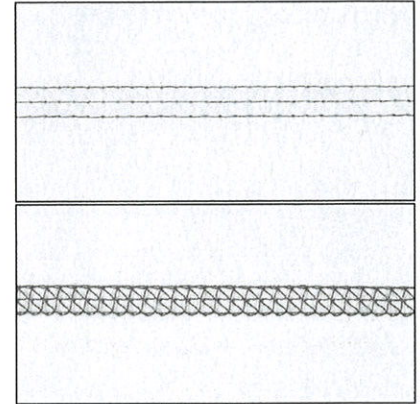
チェーンステッチ

下糸(裏側)が鎖状になっているため伸びに強く、スラックスの脇や股上の縫い合わせに最適。襟ぐりの飾りステッチとしても活躍します。



カバーステッチ

飾り縫いをはじめ、袖口縫いや裾上げなどに便利。さまざまな用途で幅広く使えます。

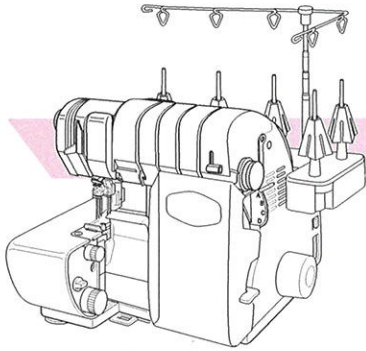


トリプルカバーステッチ

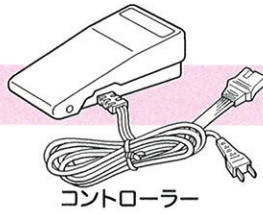
飾り縫いや裾上げ、ゴム入れなどが楽しめるトリプルカバーステッチです。

1 ご使用になる前に

下記のものが入っていることを必ずご確認ください。

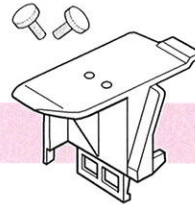


ミシン本体

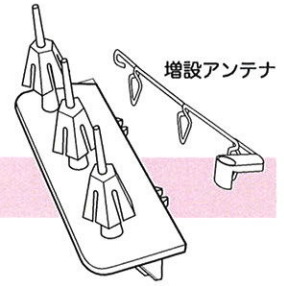


コントローラー

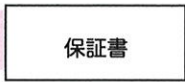
アタッチメント
固定ネジ【P39参照】



チェーン/カバー用
テーブル【P31参照】



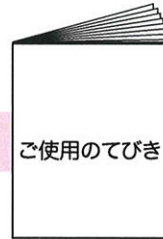
増設系立台



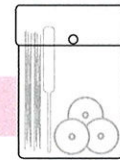
保証書



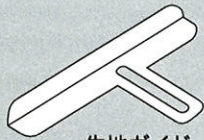
早見表



ご使用のてびき



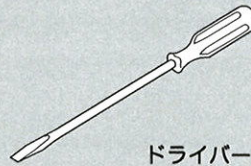
アクセサリケース



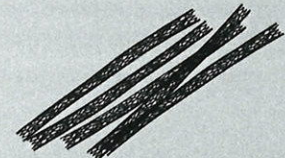
生地ガイド
【P39参照】



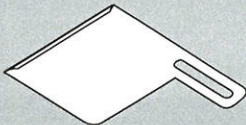
ミシンカバー



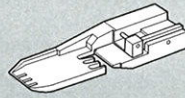
ドライバー



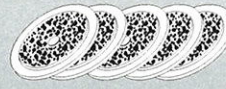
ベビーネット (5つ)
【P4参照】



裾引きガイド
【P39参照】



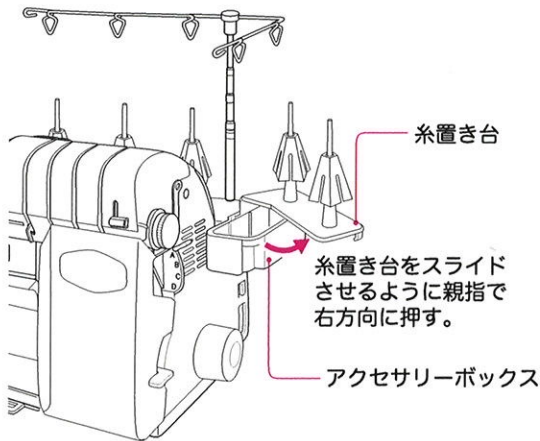
チェーン/カバー用押え
【P31参照】



スポンジ付駒受け (5個)
【P4参照】



駒受け (5個)
【P4参照】



糸置き台

糸置き台をスライド
させるように親指で
右方向に押す。

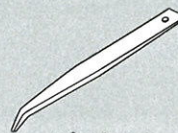
アクセサリボックス



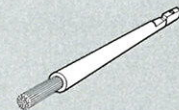
針留めネジ
オーバーロック用2個
カバー/チェーン用2個



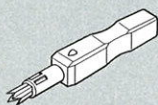
ルーバースレダ
【P45参照】



ピンセット



掃除用ブラシ
(針交換用具兼用)



針糸通し具
【P17・28・35参照】



六角レンチ
・ドライバー



針 (ELx705 #14/90)
【P44参照】



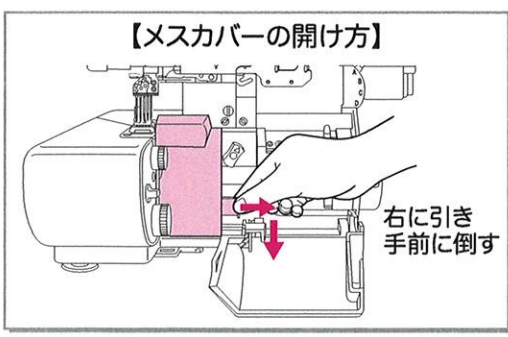
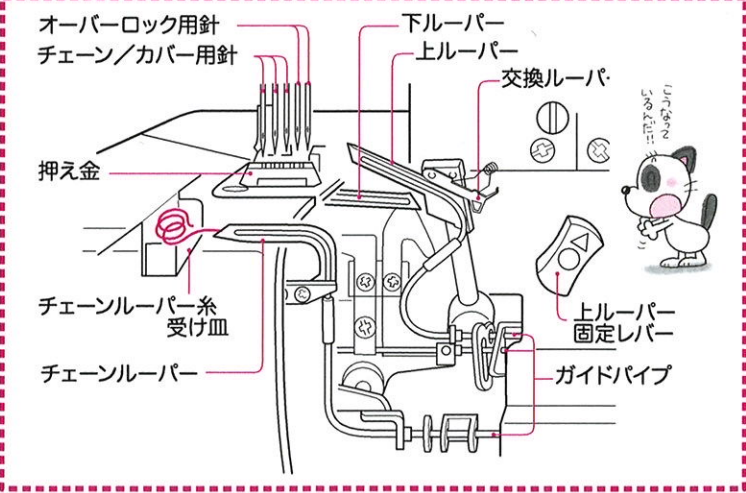
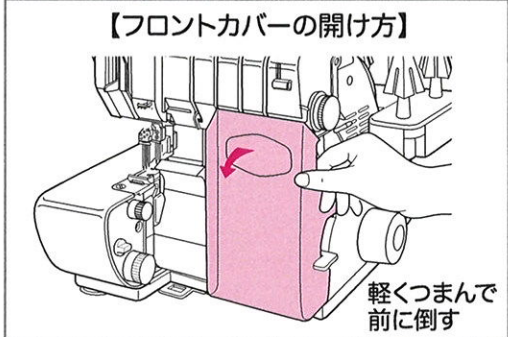
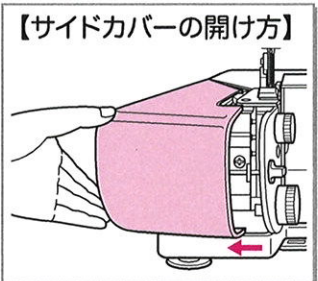
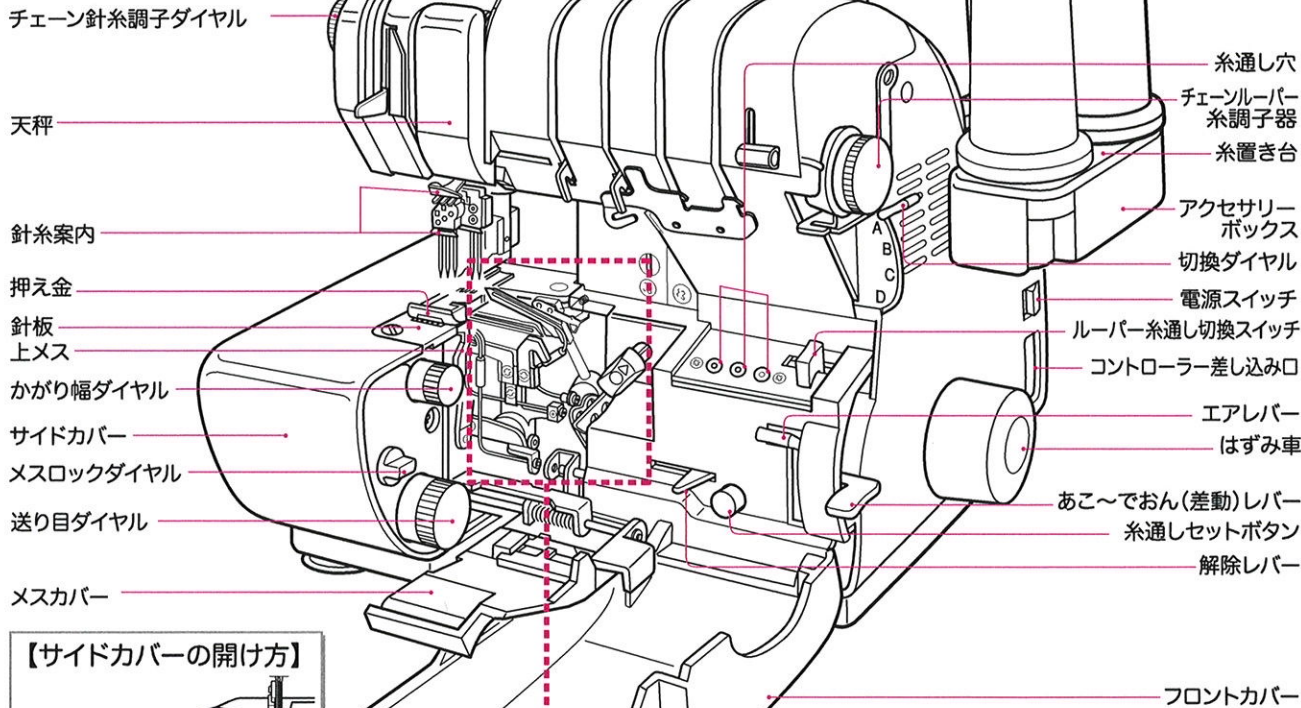
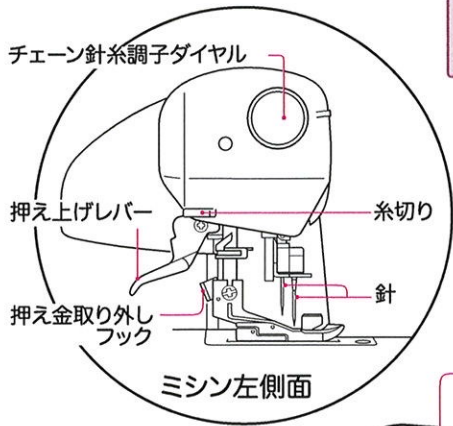
上メス
【P45参照】

2

各部の名称

セーフティストップ機構 (安全装置) について

このミシンには、誤作動を防止するために「安全装置」が装備され、下記の時はコントローラーを踏んでもミシンが動かないようになっています。
 ・サイドカバーが開いている時
 ・フロントカバーが開いている時
 各カバーを閉めてからお使いください。



3 縫うための準備

縫う前には下記の作業が必要です。

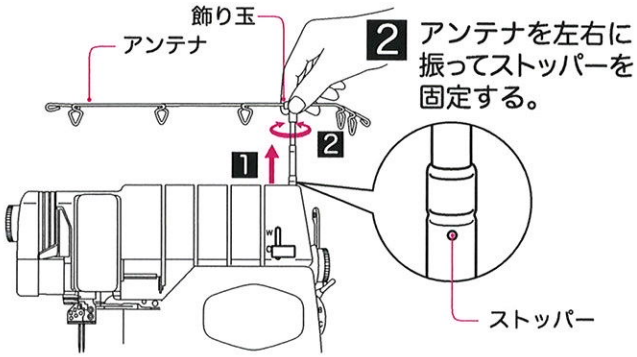
注意 火事の原因になります。

- ◆プラグをコンセントに長時間差し込んだままにしない。
- ◆コントローラーの上に物を乗せない。

3-1 アンテナのセット

1 飾り玉を持って真上へいっぱい引き伸ばす。

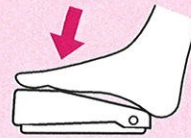
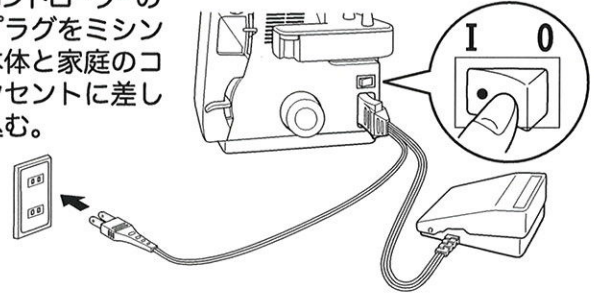
このとき糸がアンテナやそのほかの部分に絡まっていないことを確認。



3-2 コントローラーのセット

1 コントローラーのプラグをミシン本体と家庭のコンセントに差し込む。

2 電源スイッチを [I] にすると通電状態となり、照明ライトがつく。

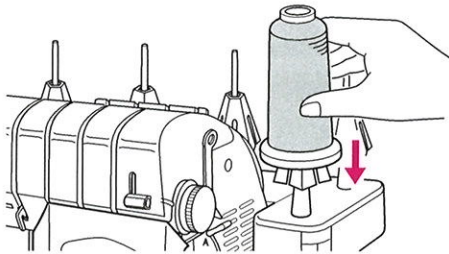


スピードの調節

強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。

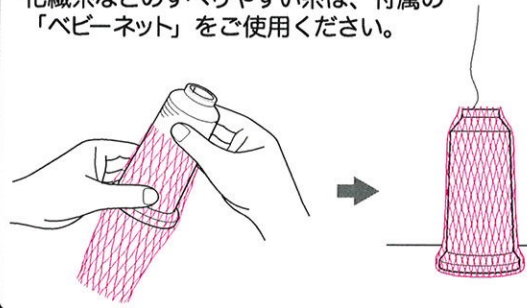
3-3 糸について

テロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、穴糸、金糸など市販されているさまざまな糸を使用することができます。通常は薄地には#80~100の細めの糸を、縫い合わせには#50~60の太めの糸を使います。



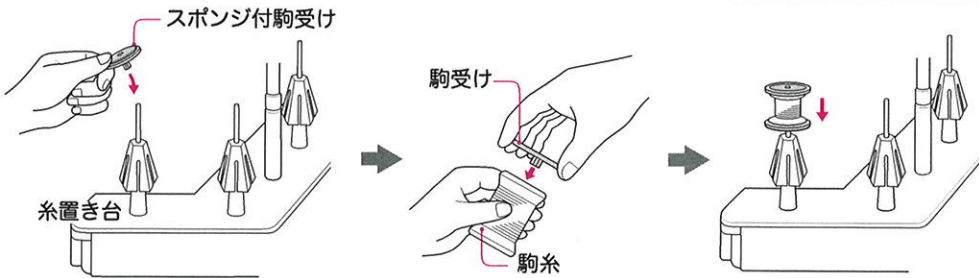
■ベビーネットの使い方

化繊糸などのすべりやすい糸は、付属の「ベビーネット」をご使用ください。



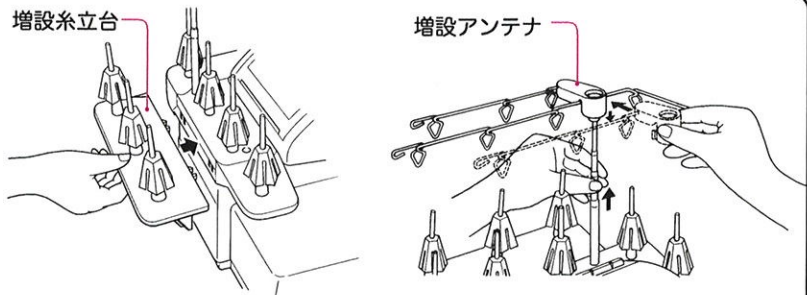
■駒受けの使い方

普通はロック糸を使用しますが、駒糸も使用できます。その場合は付属の「駒受け」と「スポンジ付駒受け」をご使用ください。



■増設糸立台／増設アンテナの使い方

余分な糸の一時的な置き場所として、またウェーブブロックなどで縫い目にボリュームを与えたいときに同じ糸道に2本以上の糸を通すことがあります。そんな時に増設すると便利です。



4

試し縫い

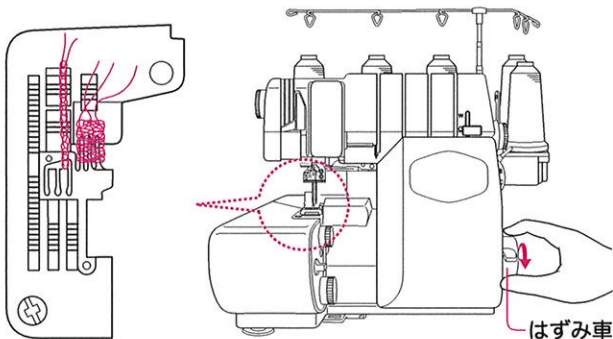
縫いによって縫い始めや縫い終わりの方法が違います。

4-1 縫い始め

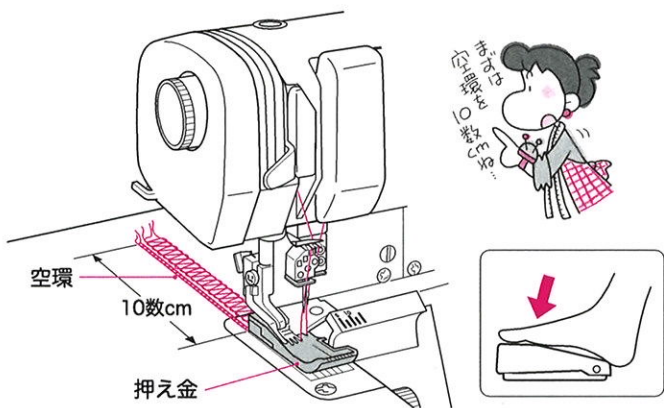
※工場出荷時は5本糸インターロック(P40)になっています。

オーバー/ウェーブ/インターロックの場合

- 1 「はずみ車」を手前方向に手で数回まわし、針板のツメに糸がからんでいることを確認する。

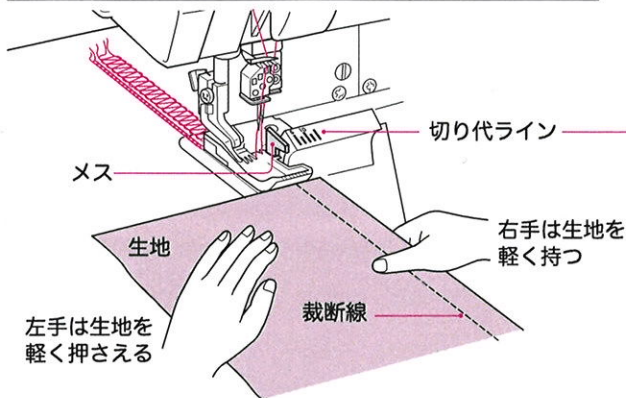


- 2 押え金が下りていることを確認し、コントローラーを軽く踏んで「空環」を約10数cm出しておく。
からかん



- 3 メスに裁断線を合わせて生地を置く。

このとき押え金を上げる必要はありません。縫い始めると、生地は押え金の下へ自然と入っていきます。



- 4 コントローラーを踏んで縫い始める。

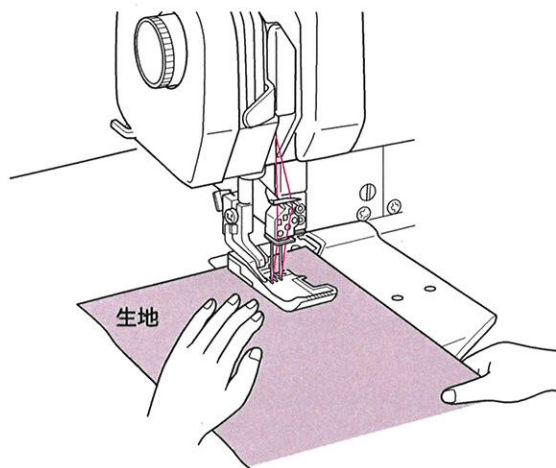


ケガをする恐れがあります。

針・ルーバー・メスの動く範囲に指や手を持っていかないでください。

チェーン/カバー/トリプルカバーステッチの場合

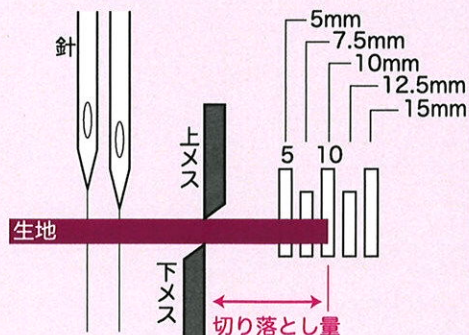
- 1 押え金を上げ、針落ち位置まで生地を入れる
- 2 押え金を下げ、「はずみ車」を手前方向に手で数回まわしてからコントローラーを軽く踏み縫い始める。



※厚物等生地によっては、まず3～4cm四方の捨て布を針落ち位置まで入れ縫ってから、続けて生地を入れ縫い始めると、縫い始めの縫い目が安定します。

切り代ラインの使い方

切り代ラインはメスで切り落とす生地量の目安です。生地端を5の線に合わせて約5mm切り落とし、10の線に合わせて約10mm切り落とします。

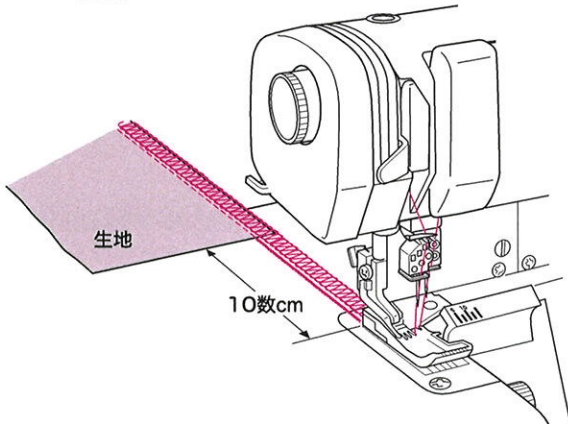


切り代ラインは目安ですので、正確を要する場合は試し切りを行い、確認してから縫い始めてください。

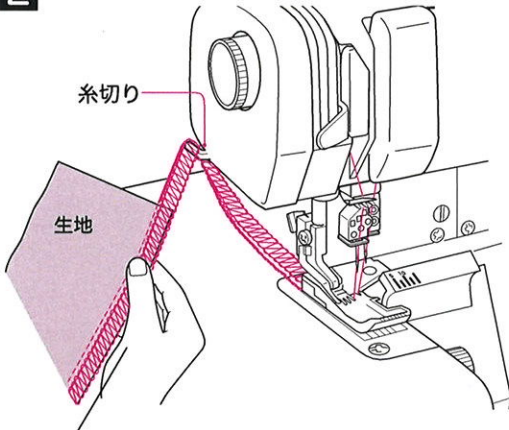
4-2 縫い終わり

オーバー/ウェーブ/インターロックの場合

- 1 生地を縫い終わったら、そのまま空縫いをし、「空環」を約10数cm出しておく。
からかん

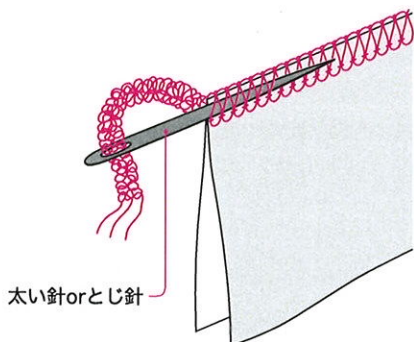


- 2 最後に「糸切り」で「空環」を切る。



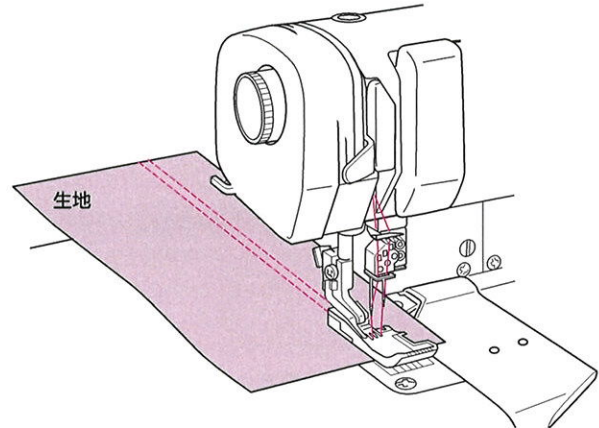
からかん 「空環」の始末

縫い終わった後、「空環」はとじ針で裏の縫い目に通しておきます。

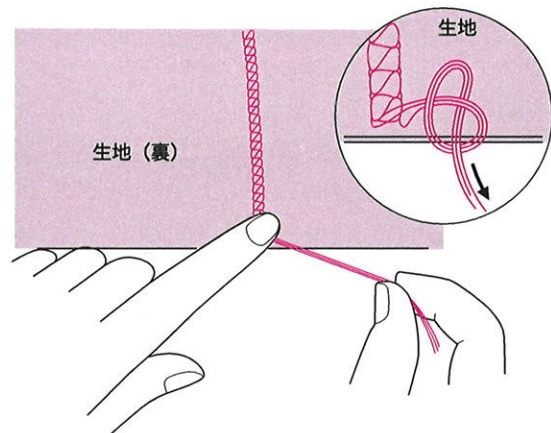


チェーン/カバー/トリプルカバーステッチの場合

- 1 生地の手前で縫い終わったら、押え金を上げ、注意しながら布を引き出し、糸を切る。



- 2 表に出ている糸をピンセット等で裏側に引っ張り出し、すべての糸をまとめて結ぶ。



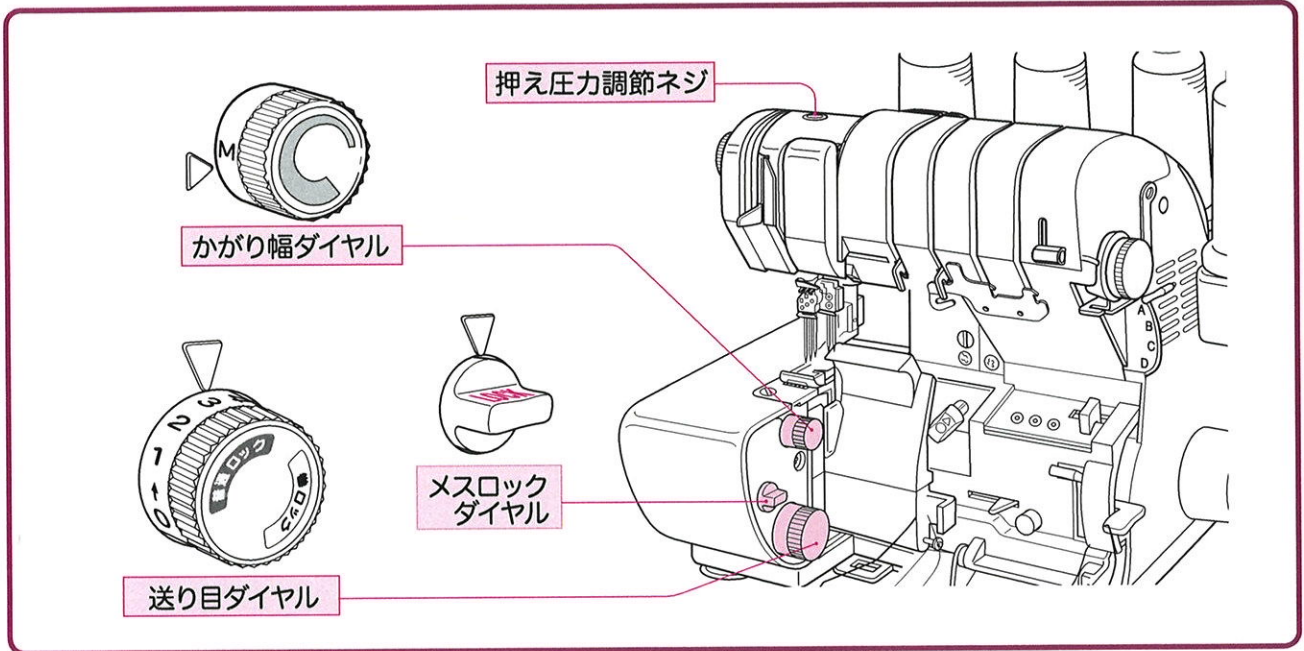
チェーン/カバー/トリプルカバーステッチで縫う場合は、送り目を「4」にした時だけ空環が出ます。縫い終わりは、送り目を「4」にしてから空環を出しておくという方法もあります。



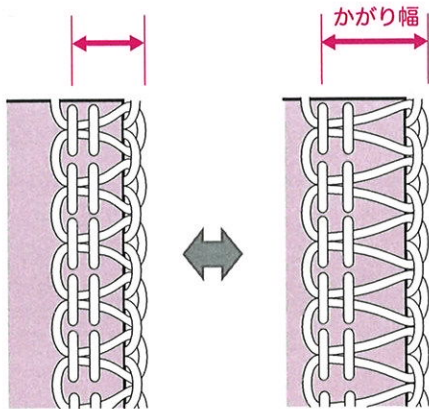
5

縫い目調節とメスの固定

生地の種類や用途に応じて、かがり幅や送り目の調節を行うとよりきれいな仕上がりになります。



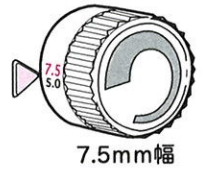
5-1 かがり幅(縫い目の幅)の調節 (オーバーロック/ウェーブロックのみ)



4本糸ロックおよび左針を使用した時の3本糸・2本糸ロック (上段の大きい数値で合わせます)



5.5mm幅

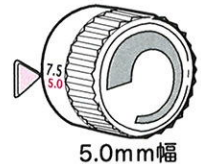


7.5mm幅

右針を使用した時の3本糸・2本糸ロック (下段の小さい数値で合わせます)



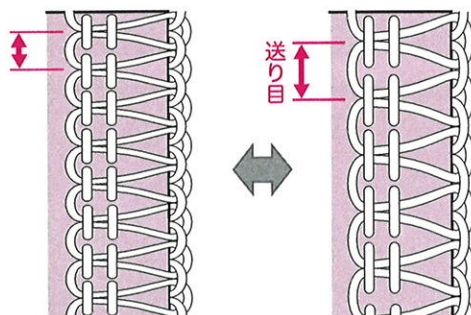
3.0mm幅



5.0mm幅

5-2 送り目(縫い目長さ)の調節

1~4mmの範囲で調節します。



- 普通ロック (オーバーロック/ウェーブロック)
- チェンステッチ
- カバーステッチ
- トリプルカバーステッチ
- インターロック



普通ロック側

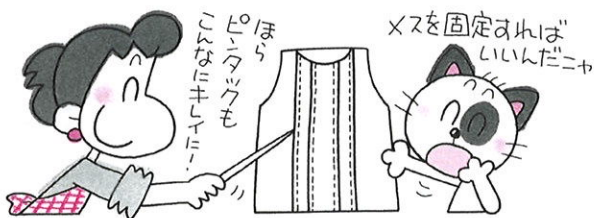
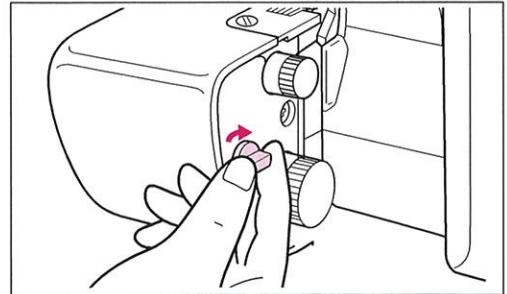
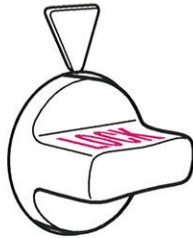
- 巻きロック (オーバーロック/ウェーブロック)



巻ロック側

5-3 メスの固定

ピンタックや飾りステッチなど、メスで布地を切らないで縫う場合は、メスロックダイヤルを【LOCK】側にしてください。メスが固定されて動かなくなります。



5-4 押え圧力の調節

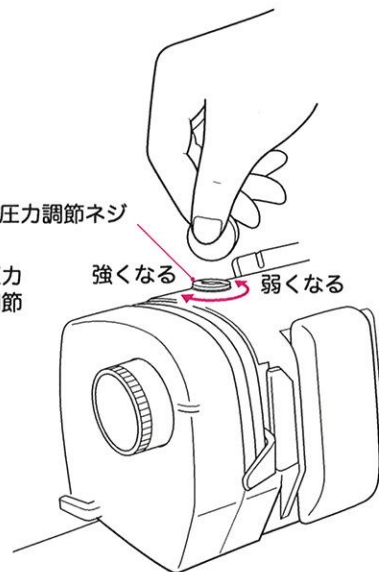
滑りやすい生地や厚い生地を何枚も重ねて縫う場合など、押え圧力を調節したほうが縫いやすい場合があります。

このミシンは、工場出荷時にほとんどの生地に合うように調節されていますので、普段はあまり調節する必要はありません。

押え圧力調節ネジ

コインなどで「押え圧力調節ネジ」を回して調節してください。

強くなる ← 弱くなる

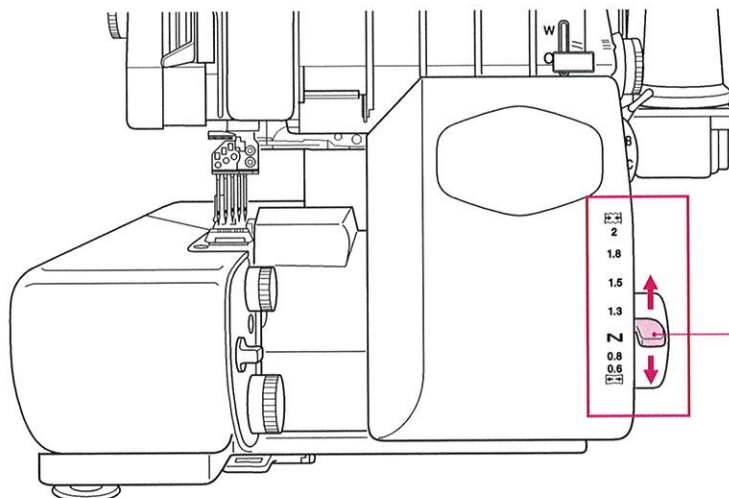


6

あこ〜でおん (差動)

共通編

伸びやすいニットやジャージー、トリコットなどの生地や、逆に裏地のような縮みやすい生地を縫う場合は「あこ〜でおんレバー」を使うと、平にきれいに仕上げることができます。さらにギャザーを寄せたり、フレアスカートのヘムのいせ込みの際に使用すると、とても便利です。



あこ〜でおん(差動)レバー



あこ〜でおんレバー	通常生地	伸びてしまう生地	縮んでしまう生地
 2 1.8 1.5 1.3 ↑	縮み縫い 袖山のギャザー寄せ、フレアスカートのヘムのいせ込み等 	ニット地、バイヤス部分等 	
N ↓	通常縫い 		
0.8 0.6 ↓	伸ばし縫い スカートの裾やブラウスの衿のフリル等 		

オーバーロック編

- A : 2本針4本糸ロック
- B : 1本針3本糸ロック / 1本針2本糸ロック
- C : 標準巻きロック
- D : 変形巻きロック

オーバーロックで縫う場合は下記の順番に従って切り替えてください。

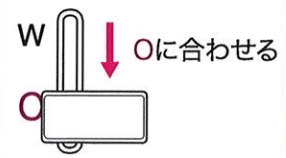
2 糸をかける (P13~18参照)

1 針

○側の針を付ける
 ・4本糸の場合は2本針
 ・その他は右針使用の1本針

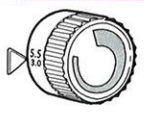
3

オーバーロック/
ウェーブロック切換ツマミ




W ↓ Oに合わせる

6 かがり幅ダイヤル



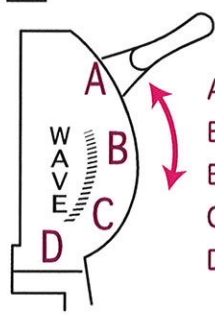
- ・4本糸の場合は上段の大きい数字で合わせる
- ・その他の場合は下段の小さい数字で合わせる

5 送り目ダイヤル



- ・4本糸、3本糸、2本糸ロックの場合は【普通ロック】側の数字で合わせる
- ・標準巻きロック、変形巻きロックの場合は【巻ロック】側の数字で合わせる

4 縫い目切換ダイヤル



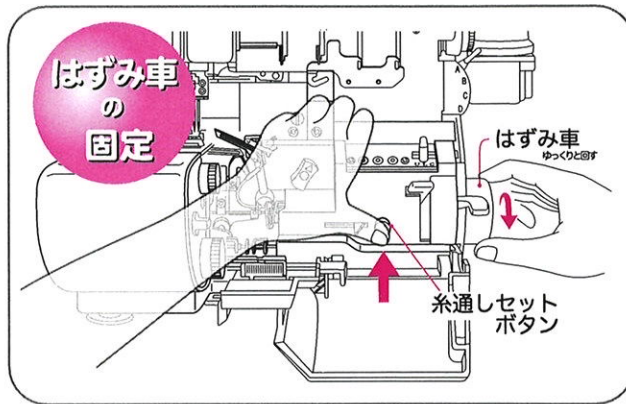
- A : 2本針4本糸ロック
- B : 1本針3本糸ロック
- B : 1本針2本糸ロック
- C : 標準巻きロック
- D : 変形巻きロック



7

「オーバーロック」の糸かけ

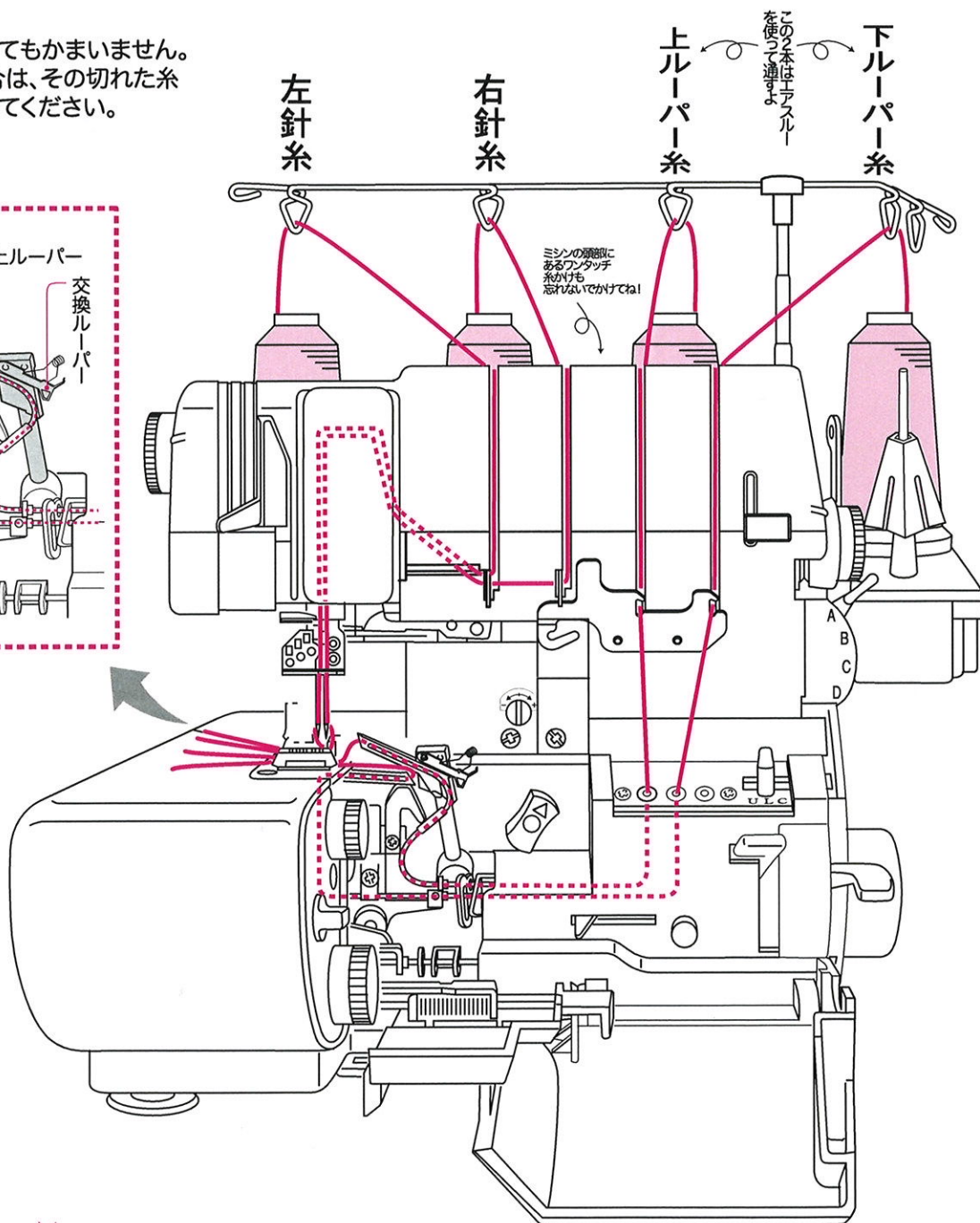
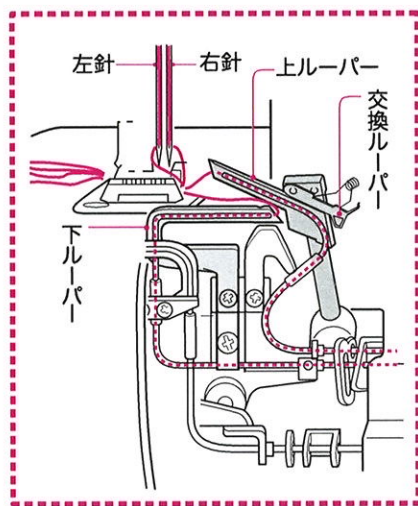
下ルーパー糸と上ルーパー糸をかける場合は、エアスルーシステム（自動エア糸通し）を使用します。このエアスルーシステムを使用する前には必ず「はずみ車の固定」を行ってください（右ページ参照）。



糸かけ全体図

どの糸からかけてもかまいません。糸が切れた場合は、その切れた糸だけをかけ直してください。

オーバーロック編



注意 ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

注目

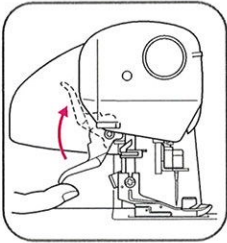
※2本糸ロックの針糸のかけ方は上記と異なります。P21を参照ください。

エアスルーシステム(自動エア糸通し)の使い方

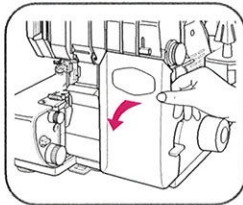
下ルーパーと上ルーパーの糸かけをするときは「エアスルーシステム(自動エア糸通し)」を使います。エアスルーシステムは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。また、ルーパーの糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。

エアスルーシステムの「準備」

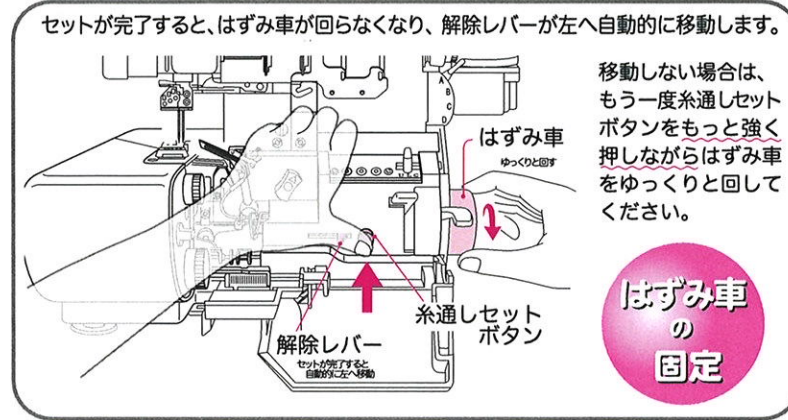
- 1** 押え上げレバーで押え金を上げる。



- 2** フロントカバーとメスカバーを開ける。



- 3** 糸通しセットボタンを押しながら、カチッと音がするまで、はずみ車を回す。



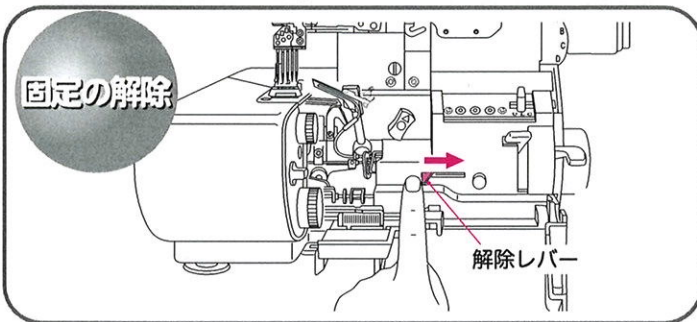
移動しない場合は、もう一度糸通しセットボタンをもっと強く押しながらはずみ車をゆっくりと回してください。



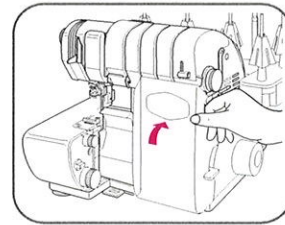
P 15(下ルーパー糸)・P 16(上ルーパー糸)にしたがって糸をかける

エアスルーシステムの「解除」

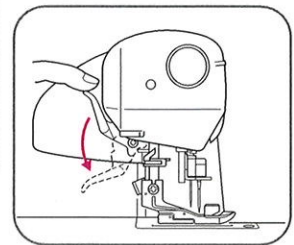
- 1** ルーパー糸をかけ終わったら、必ず解除レバーを右にスライドさせる。



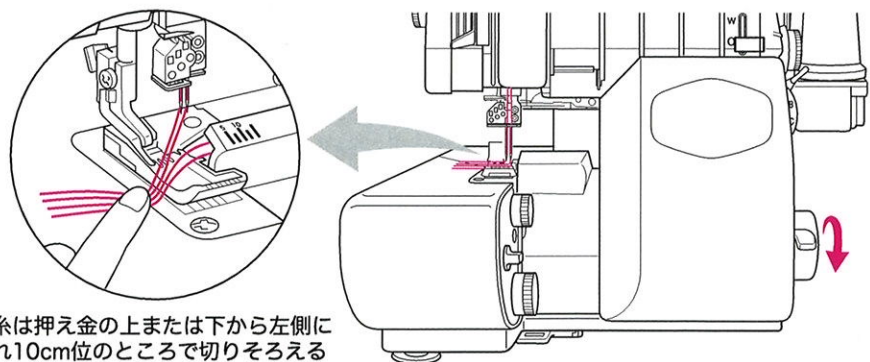
- 2** メスカバー、フロントカバーを閉める。



- 3** 押え上げレバーで押え金を下げる。



オーバーロックで縫う場合は、針糸を含めすべての糸をかけ終わったら、最後に糸を軽く押え、はずみ車を数回まわして、空環がうまくできるか確認する。



通した糸は押え金の上または下から左側にそれぞれ10cm位のところで切りそろえる

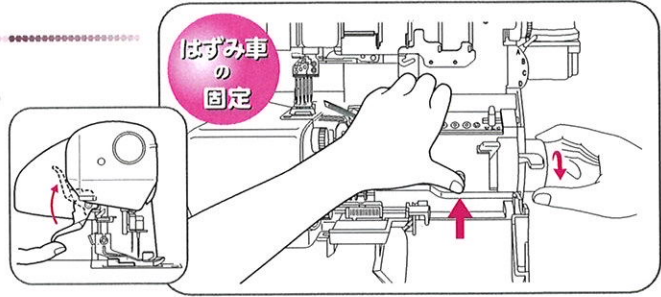
「オーバーロック」の糸かけ

下ルーパー糸

(はずみ車の固定)

1 糸かけの前に必ず「エアスルーシステムの準備」(前ページ参照)を行う。

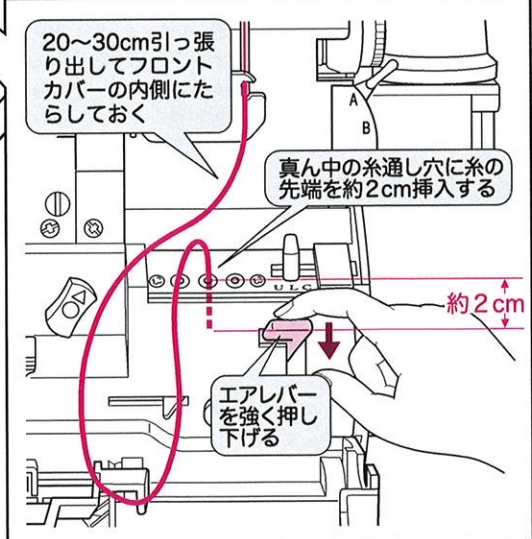
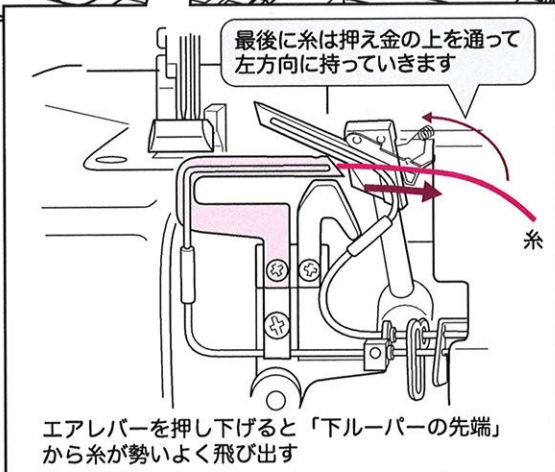
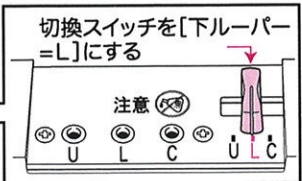
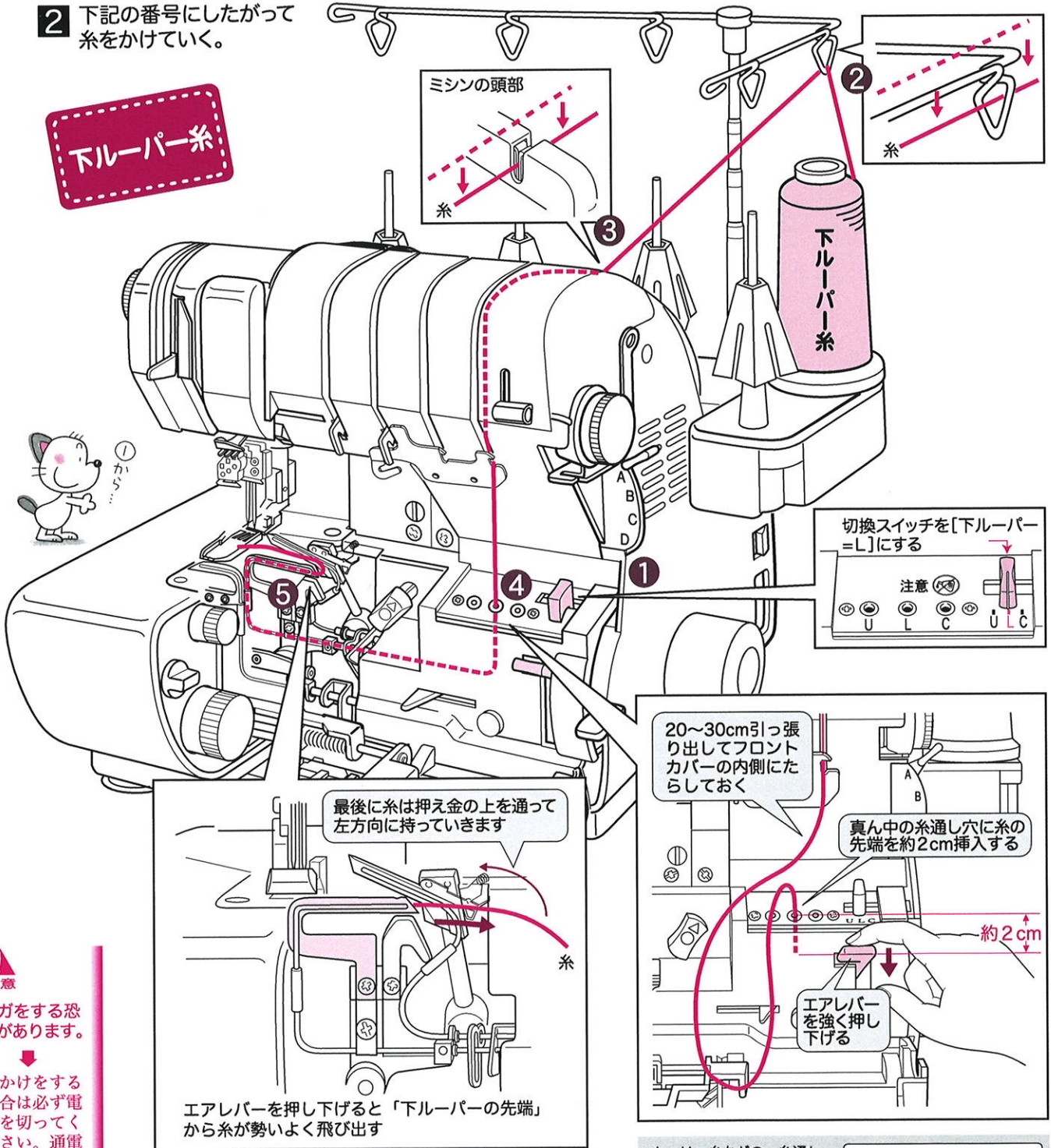
重要



2 下記の番号にしたがって糸をかけていく。

下ルーパー糸

オーバーロック編



注意
ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

ワンポイント 糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利!



3 「固定の解除」(前ページ参照)をしてから縫い始める。**重要**

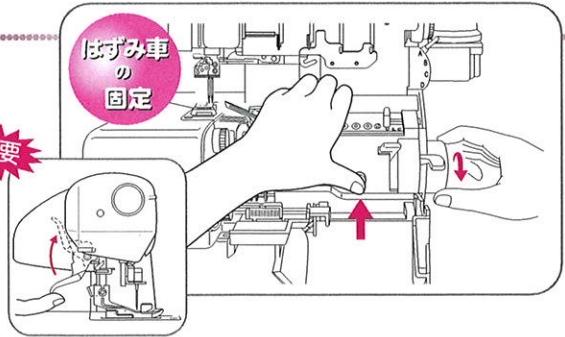
「オーバーロック」の糸かけ

上ルーパー糸

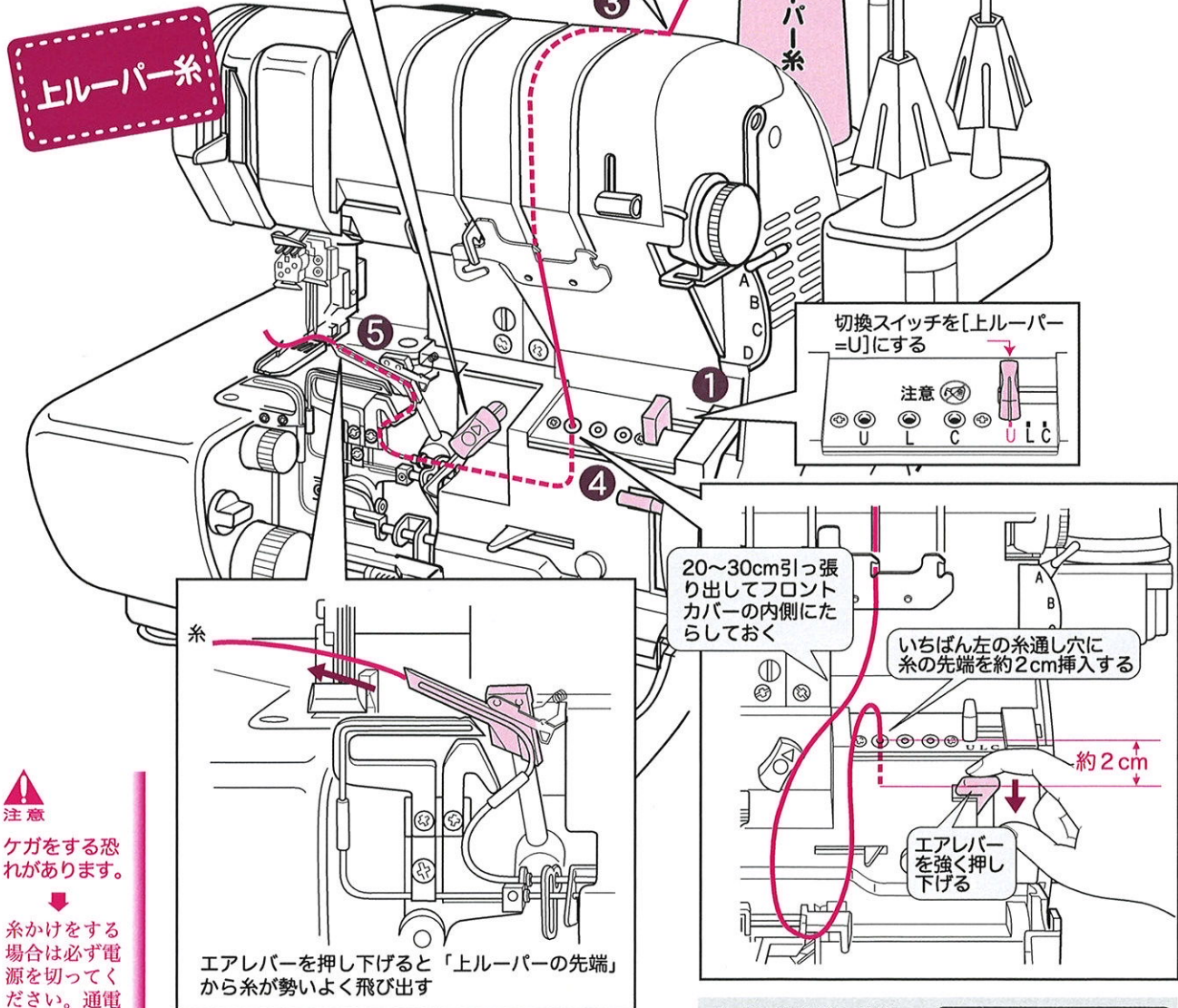
1 上ルーパー固定レバーを**up** (使用) にする。



2 糸かけの前に必ず
(はずみ車の固定)
「エアスルーシステムの準備」
(14ページ参照)を行う。



3 下記の番号にしたがって糸をかけていく。

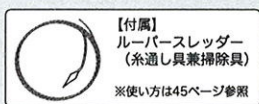


注意
ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

ワンポイント 糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押ししても糸は通りません。

ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパーズレッダー」を利用すると便利!

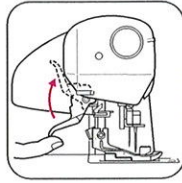


3 「固定の解除」(14ページ参照)をしてから縫い始める。**重要**

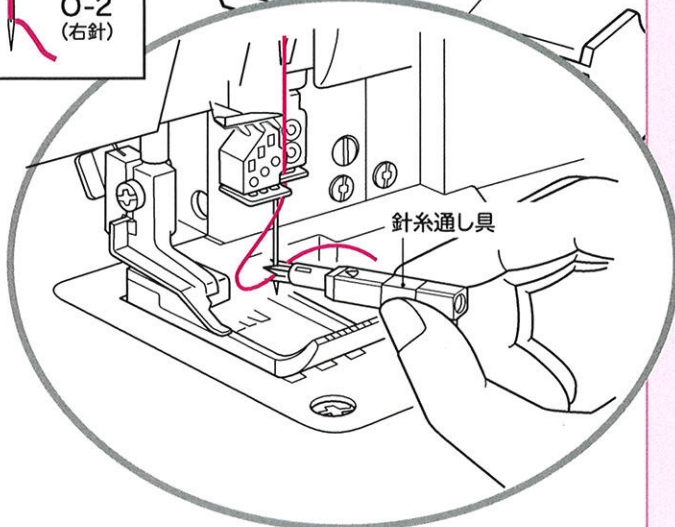
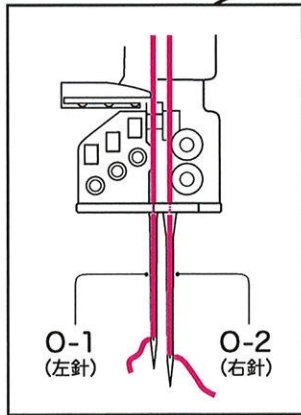
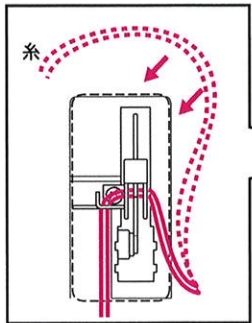
「オーバーロック」の糸かけ

右針糸・左針糸

1 押え金を上げ、針も一番上まで上げる。



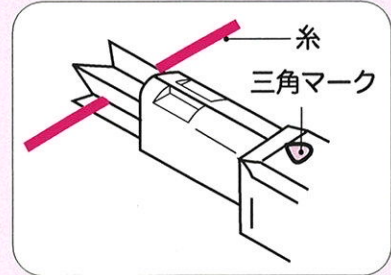
2 下記の番号にしたがって糸をかけていく。



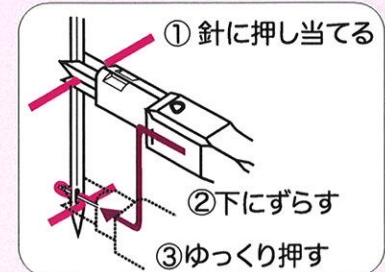
【針糸通し具の使い方】

付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。

1 糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ



2 そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にずらし、針穴まで来たらゆっくりと押す



注意
ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

注目 ※2本糸ロックの針糸のかけ方は、上記と異なります。P21を参照ください。

「オーバーロック」の糸かけ

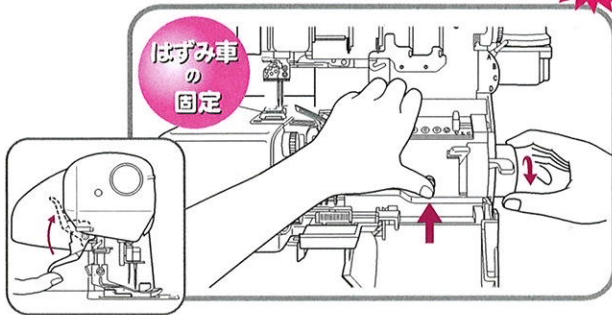
太い糸のかけ方

太い糸のかけ方 (極細毛糸や刺繍糸など)

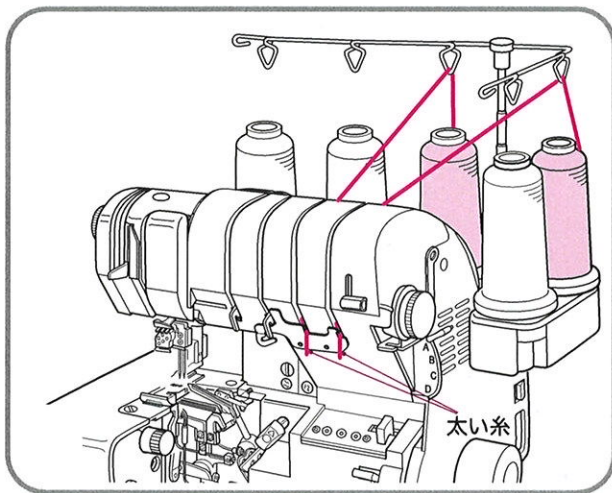
【エアスルーパイプを通さない糸のかけ方】

上・下ルーパース糸に、飾り糸として使われるような太い糸を使用したい場合は、エアスルーシステム(自動エア糸通し)のパイプに入らない場合があります。そのような時は下記のようにして糸を通してください。

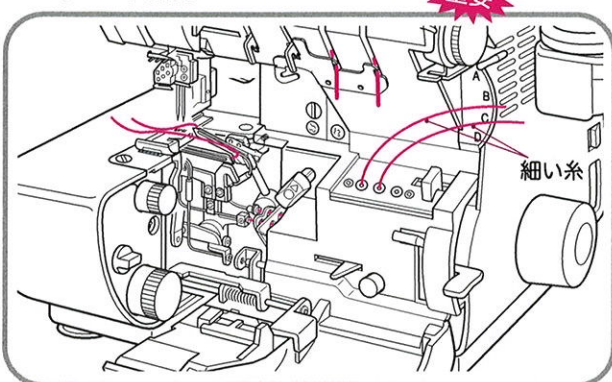
- 1** 糸かけの前に必ず「^(はずみ車の固定)エアスルーシステムの準備」(P14参照)を行う。**重要**



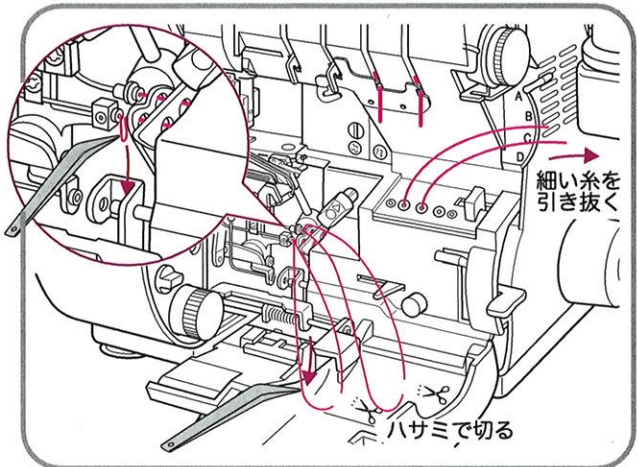
- 2** 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。(P15、16の②③参照)



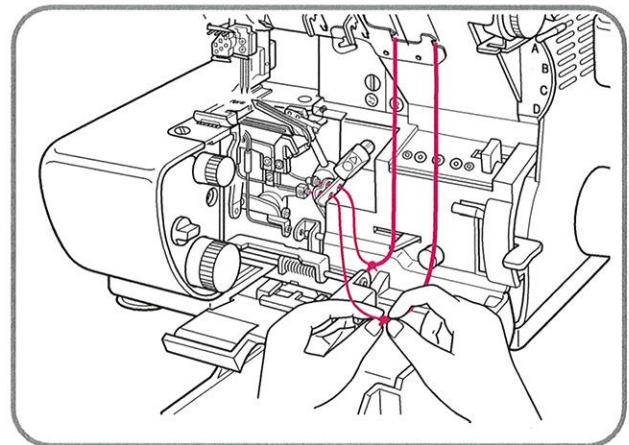
- 3** エアスルーを使って、まず細い糸を通したあと(P15、16の①④⑤参照)、「^{重要}固定の解除」を行う(P14参照)。



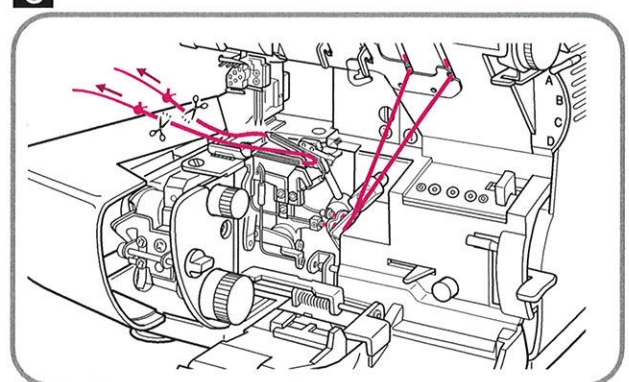
- 4** ピンセットで糸を引き出して切る。



- 5** 太い糸と細い糸を結ぶ。



- 6** 結び目を引き出して切る。



8

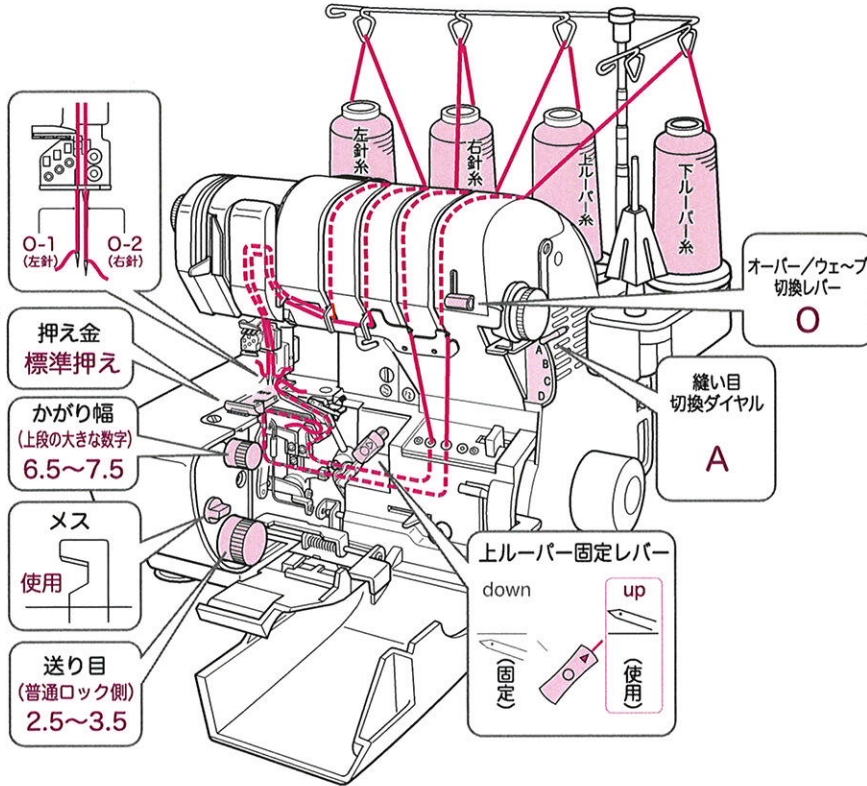
「オーバロック」の縫い方

オーバロックでは2本針4本糸・1本針3本糸
・1本針2本糸・標準巻きロック・変形巻きロック
の5種類の基本縫いができます。

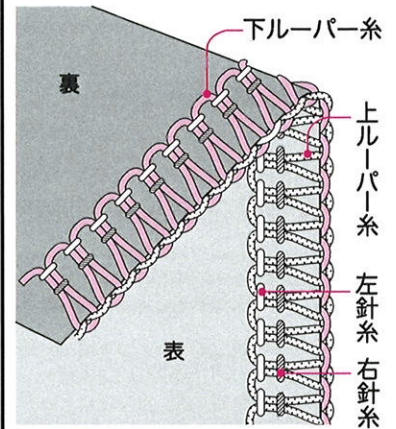
ワンポイント

縫い目がきれいにできない場合は、溝の間にある2枚の糸調子皿から糸が、はずれていることがあります。この2枚の皿で糸をはさみ、縫い目を整えています。ここから糸がはずれるときれいな縫い目になりません。押え上げレバーを上げると、この皿が開くので、もう一度溝に糸を入れ直してください。入れ直した後、押え上げレバーを下げることを忘れないで!

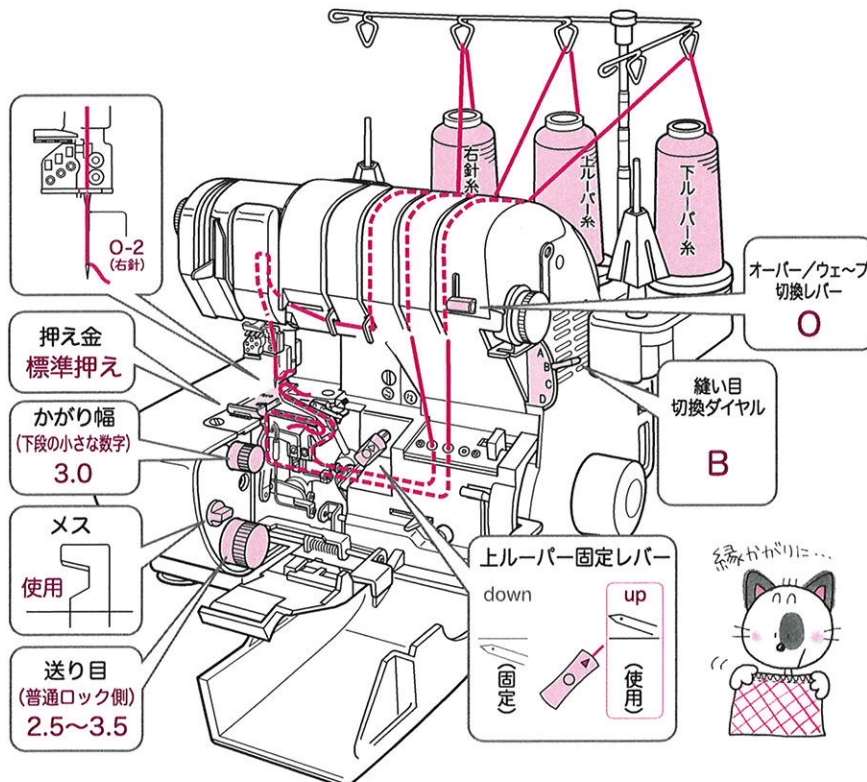
2本針4本糸ロックの縫い方



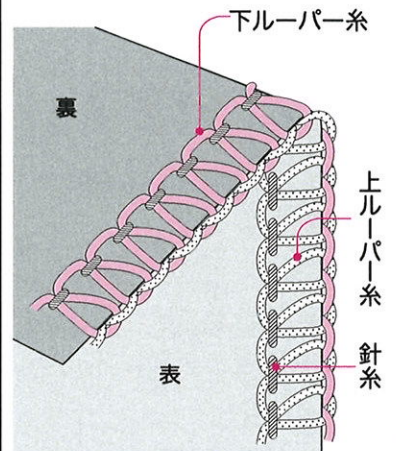
【2本針4本糸ロック】



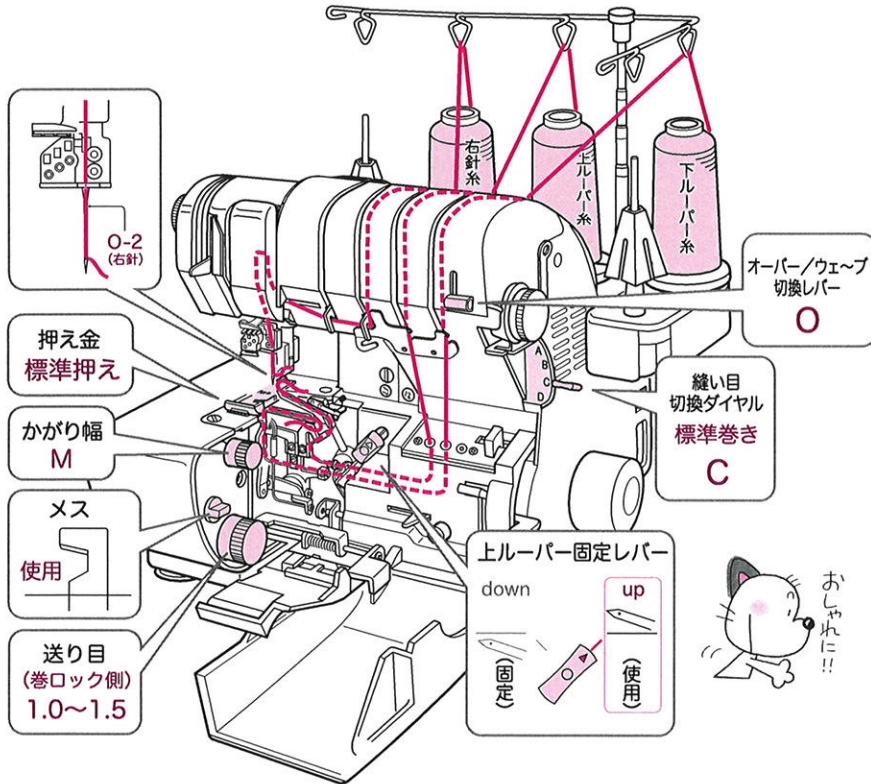
1本針3本糸ロックの縫い方



【1本針3本糸ロック】

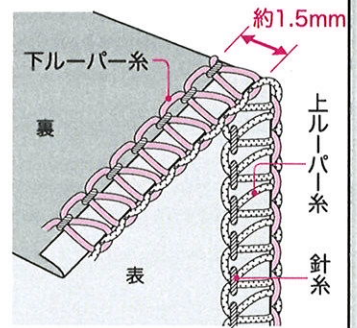


巻きロック (標準) の縫い方

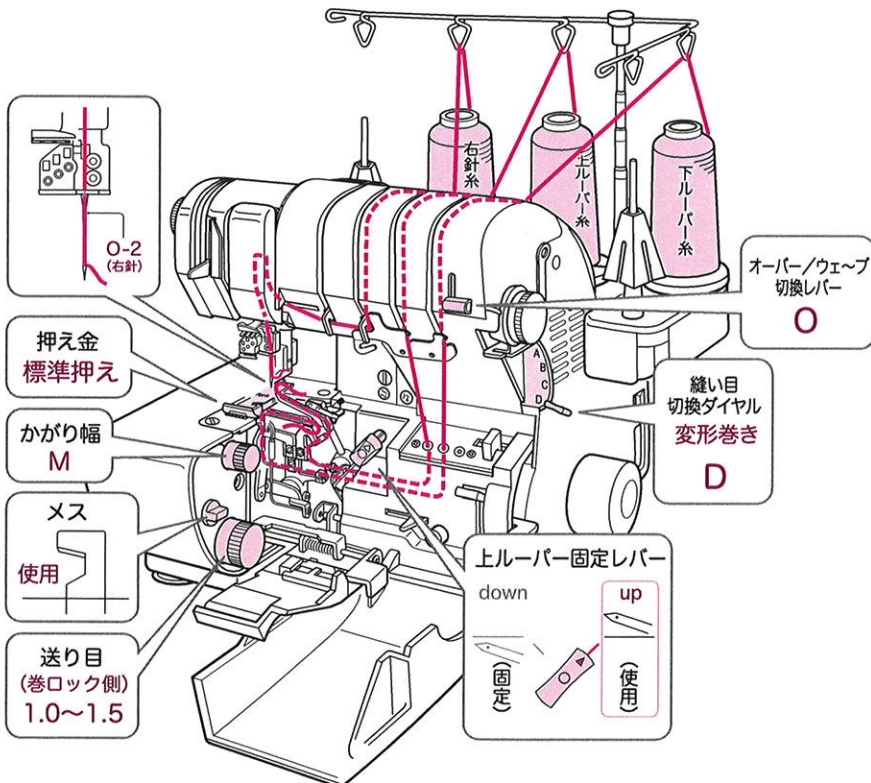


【標準巻きロック】

布端をひと折りしながら、細くかかりますが、縫い目の形状は普通ロックと同じです。かがりの厚みを出さず、きれいなシルエットに上げることができます。

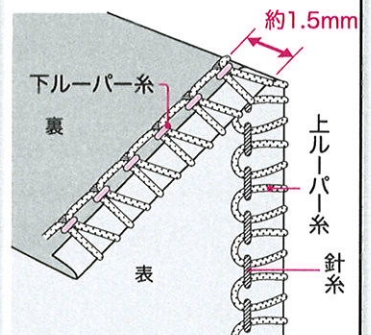


巻きロック (変形) の縫い方



【変形巻きロック】

上ルーパー糸が、布端を裏側に巻き込みながら細くかかります。上ルーパー糸にウーリー糸を使用すると、細い縫い目が強調され印象的です。



※記されている数字は標準値です。生地や糸、または用途や好みによって微調整を行ってください。

「オーバーロック」の縫い方

1本針2本糸ロック

注意 ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

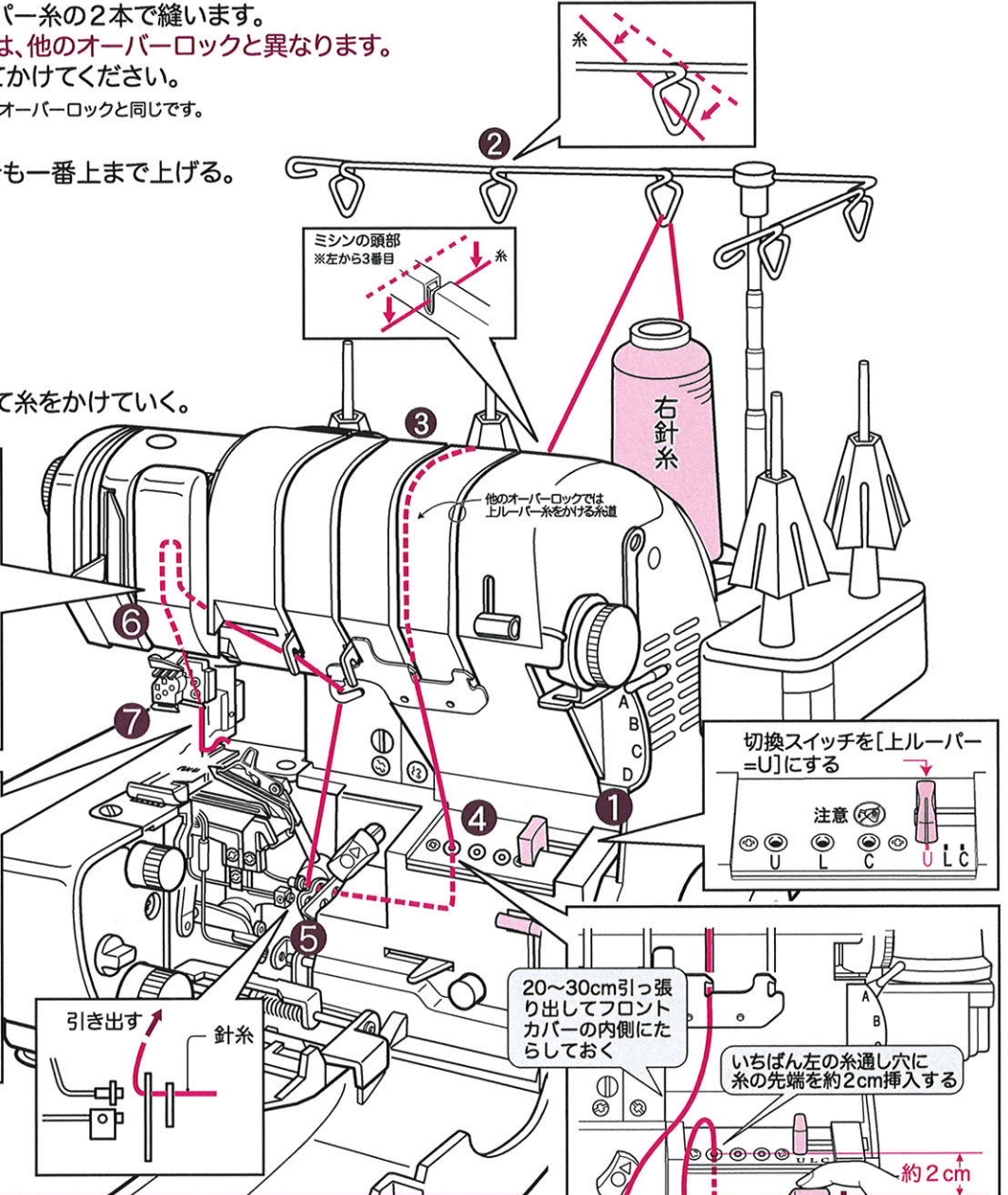
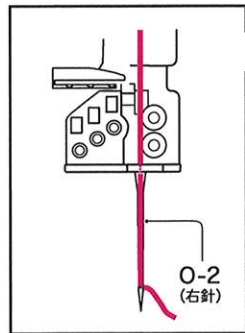
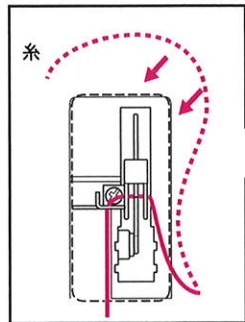
1本針2本糸の糸かけ

右針糸と下ルーパー糸の2本で縫います。
右針糸の糸かけは、他のオーバーロックと異なります。
下記にしたがってかけてください。
※下ルーパー糸は、他のオーバーロックと同じです。

1 押え金を上げ、針も一番上まで上げる。



2 番号にしたがって糸をかけていく。



切換スイッチを[上ルーパー=U]にする
注意

20~30cm引っ張り出してフロントカバーの内側にたらししておく

いちばん左の糸通し穴に糸の先端を約2cm挿入する

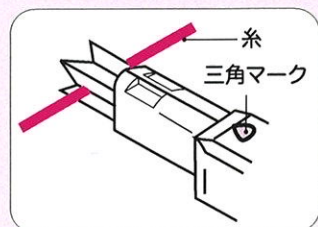
約2cm

エアレバーを強く押し下げる

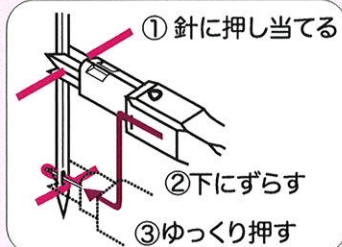
【針糸通し具の使い方】

付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。

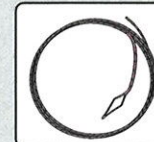
1 糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ



2 そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にならずし、針穴まで来たらゆっくりと押し



ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利!



【付属】
ルーパースレッダー
(糸通し具兼掃除具)

※使い方は45ページ参照

1本針2本糸の縫い方

0-2 (右針)

押え金 標準押え

かがり幅 (下段の小さい数字) 3.5

メス 使用

送り目 (普通ロック側) 3.0~3.5

右針糸

下ルーバー糸

オーバー/ウェーブ 切換レバー 0

縫い目 切換ダイヤル B

上ルーバー固定レバー down (固定) up (使用)

【1本針2本糸ロック】

針糸

下ルーバー糸

裏

表

※記されている数字は標準値です。生地や糸、または用途や好みによって微調整を行ってください。

重要

「交換ルーバー」を上ルーバーの先端の穴に入れます。

交換ルーバー

上ルーバー

2本糸から4・3本糸・巻きロックに切り換える場合は、必ず「交換ルーバー」を元の位置に戻してください。

重要

2本糸ロックは、下記のような『飾り縫い』で使われることが多くあります。

■『飾り縫い』の代表的な縫い方

- 1 メス固定ツマミを「LOCK(固定)」側にする。
- 2 生地を二つ折りにして、その折り山の端を縫っていく。このとき、固定(Lock)したメスをガイドにすると縫いやすい。
- 3 縫い終わったら、生地を広げる。

針糸

下ルーバー糸

裏

表

表

針糸

下ルーバー糸

裏

針糸

ワンポイントアドバイス

2本糸で飾りステッチなどを縫う場合は、下ルーバー糸に太めの糸や飾り糸を使うと効果的です。



ウェーブロック編

B: ウェーブロック
C: ウェーブの巻きロック

ウェーブロックで縫う場合は下記の順番に従って切り替えてください。

1 針

○側の針を付ける
・右針使用の1本針

2 糸をかける (P24~29参照)

※上下ルーバー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。

3

オーバーロック/
ウェーブロック切換ツマミ

W
O ↑ Wに合わせる

6 かがり幅ダイヤル

・下段の小さい数字で合わせる

4 縫い目切換ダイヤル

WAVE B: ウェーブロック
C: ウェーブの巻きロック

5 送り目ダイヤル

・ウェーブロックの場合は【普通ロック】側の数字で合わせる
・ウェーブの巻きロックの場合は【巻ロック】側の数字で合わせる

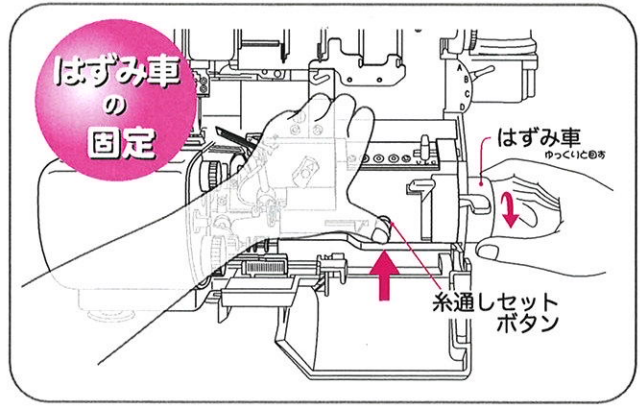
ウェーブロック編



9

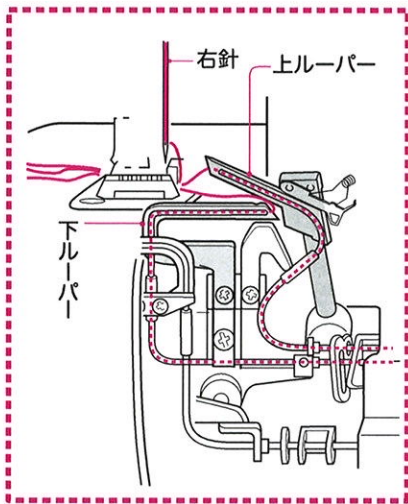
「ウェ〜ブロック」の糸かけ

下ルーパー糸と上ルーパー糸をかける場合は、エアスルーシステム（自動エア糸通し）を使用します。このエアスルーシステムを使用する前には必ず「はずみ車の固定」を行ってください（右ページ参照）。

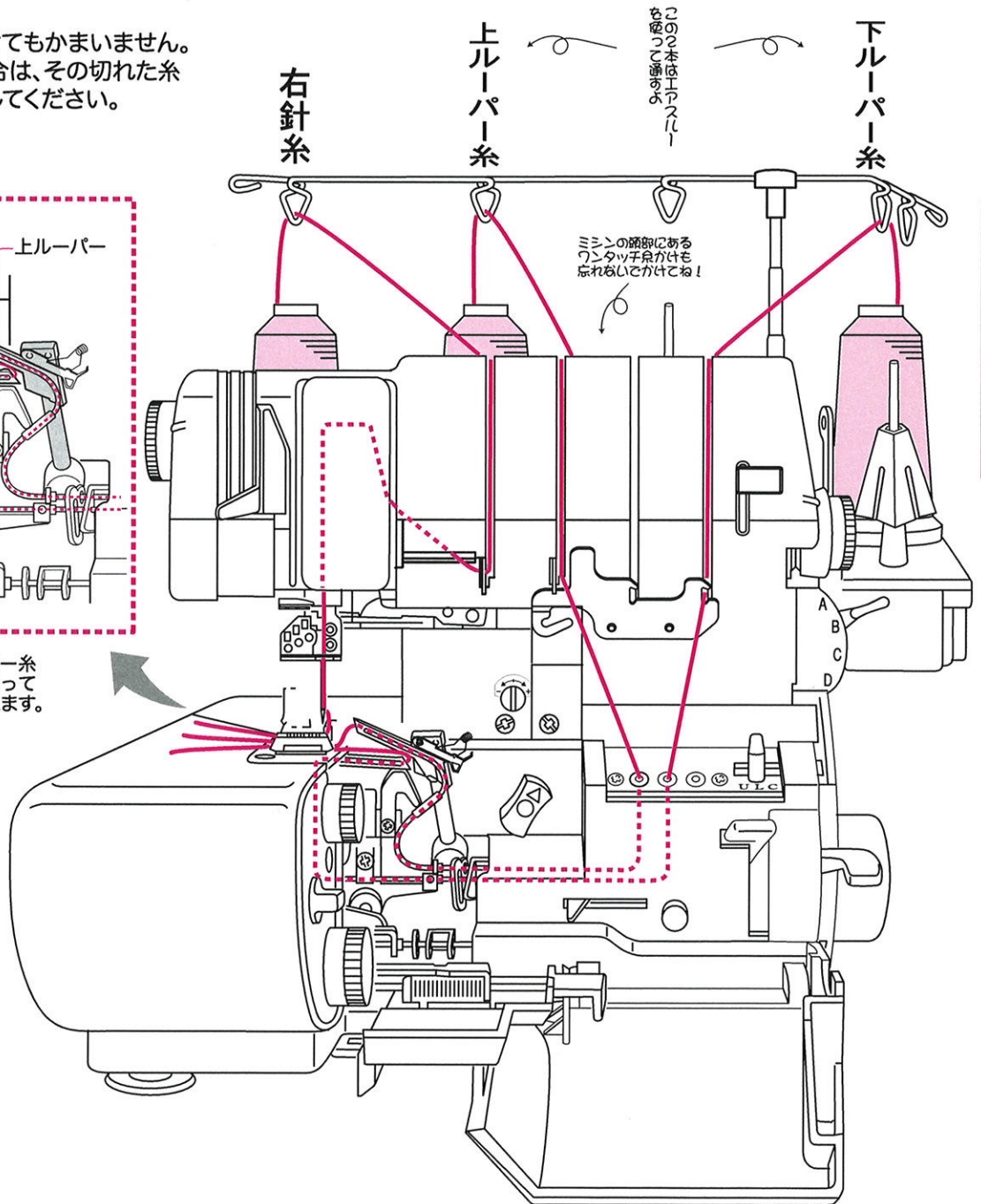


糸かけ全体図

どの糸からかけてもかまいません。糸が切れた場合は、その切れた糸だけをかけ直してください。



※上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。



注意 ケガをする恐れがあります。

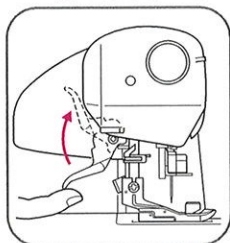
糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

エアスルーシステム (自動エア糸通し) の使い方

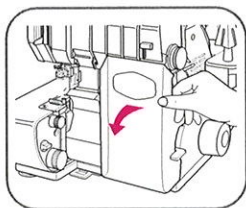
下ルーパーと上ルーパーの糸かけをするときは「エアスルーシステム (自動エア糸通し)」を使います。エアスルーシステムは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。また、ルーパーの糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。

エアスルーシステムの「準備」

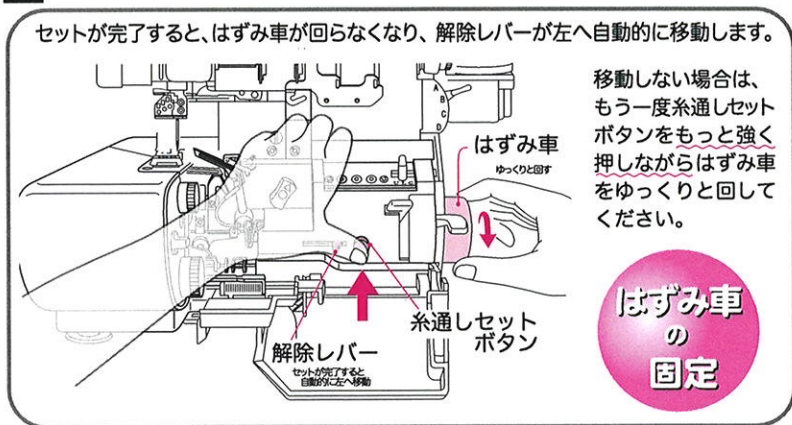
- 1** 押え上げレバーで押え金を上げる。



- 2** フロントカバーとメスカバーを開ける。



- 3** 糸通しセットボタンを押しながら、カチッと音がするまで、はずみ車を回す。



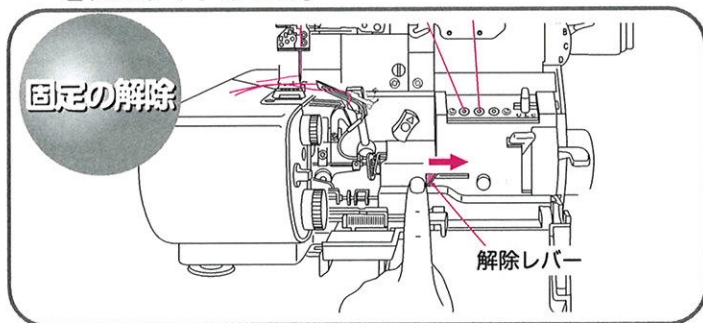
移動しない場合は、もう一度糸通しセットボタンをもっと強く押しながらはずみ車をゆっくりと回してください。

はずみ車の固定

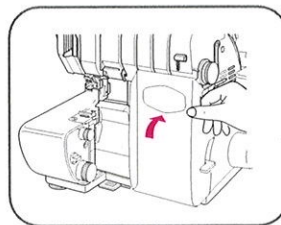
P26 (下ルーパー糸)・P27 (上ルーパー糸) にしたがって糸をかける

エアスルーシステムの「解除」

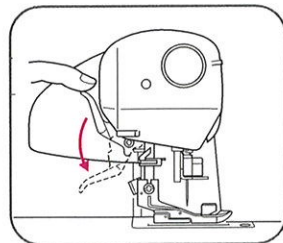
- 1** ルーパー糸をかけ終わったら、必ず解除レバーを右にスライドさせる。



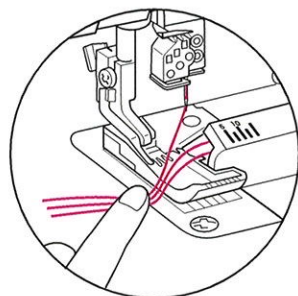
- 2** メスカバー、フロントカバーを閉める。



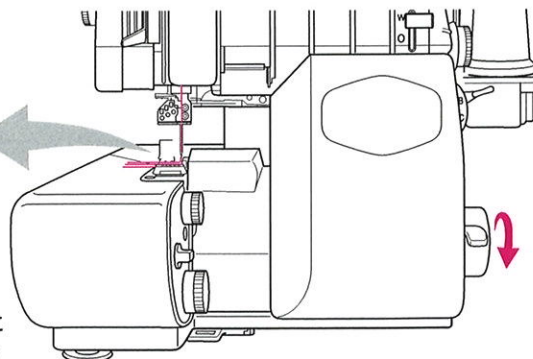
- 3** 押え上げレバーで押え金を下げる。



オーバーロックで縫う場合は、針糸を含めすべての糸をかけた後、最後に糸を軽く押え、はずみ車を数回まわして、空環がうまくできるか確認する。



通した糸は押え金の上または下から左側にそれぞれ10cm位のところで切りそろえる



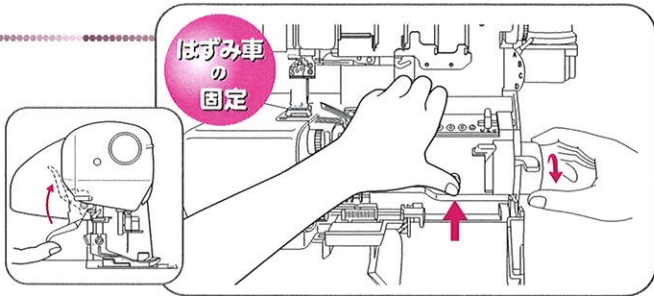
「ウェーブロック」の糸かけ

下ルーパー糸

(はずみ車の固定)

1 糸かけの前に必ず「エアスルーシステムの準備」(前ページ参照)を行う。

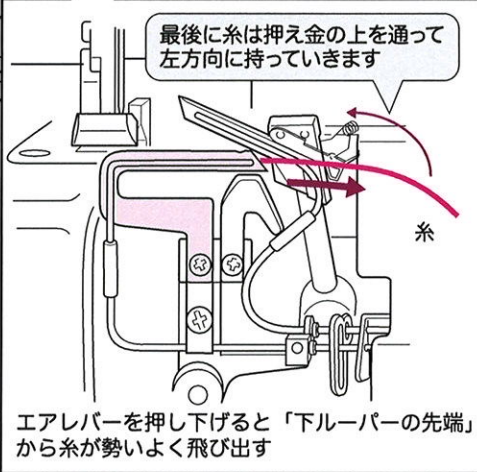
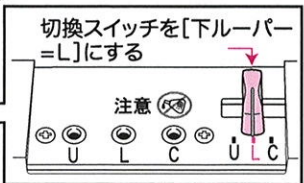
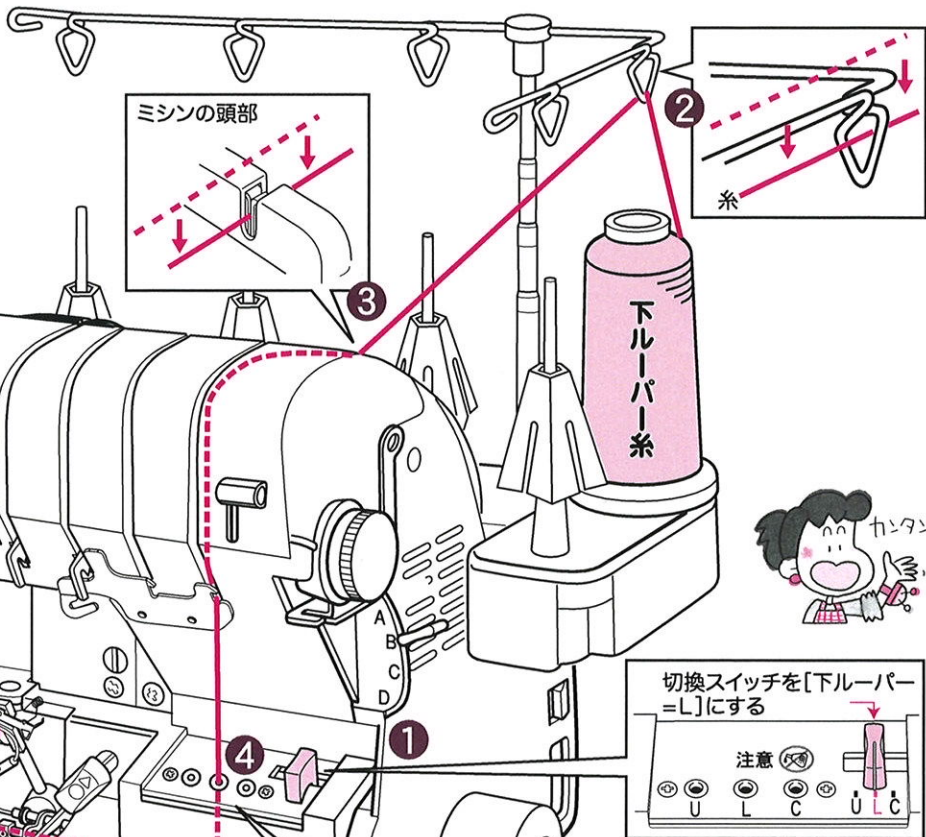
重要



2 下記の番号にしたがって糸をかけていく。

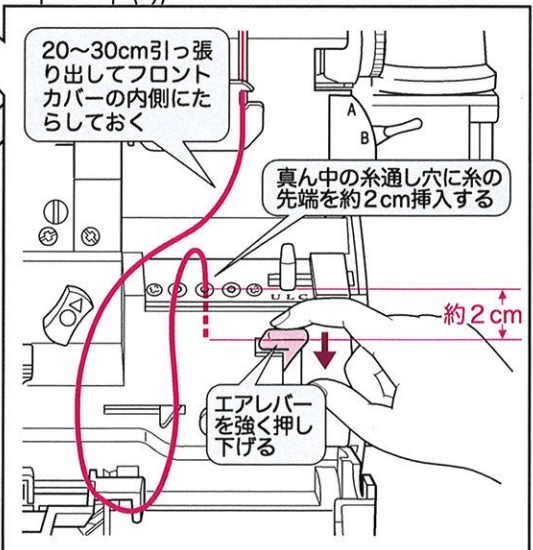
※上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。

下ルーパー糸

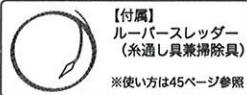


エアレバーを押下げると「下ルーパーの先端」から糸が勢いよく飛び出す

ワンポイント 糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。



ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利!



注意
ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

3 「固定の解除」(前ページ参照)をしてから縫い始める。**重要**

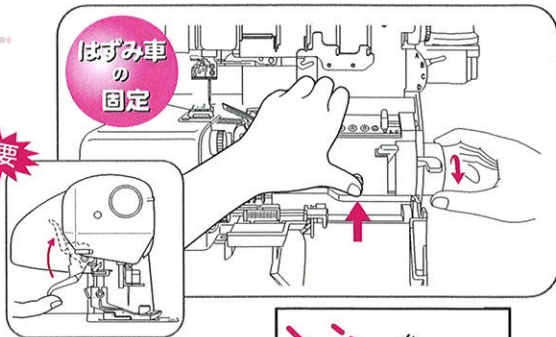
「ウェーブロック」の糸かけ

上ルーパー糸

1 上ルーパー固定レバーを**up**（使用）にする。



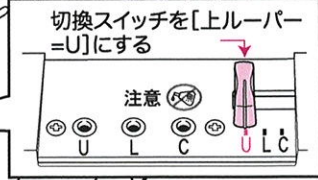
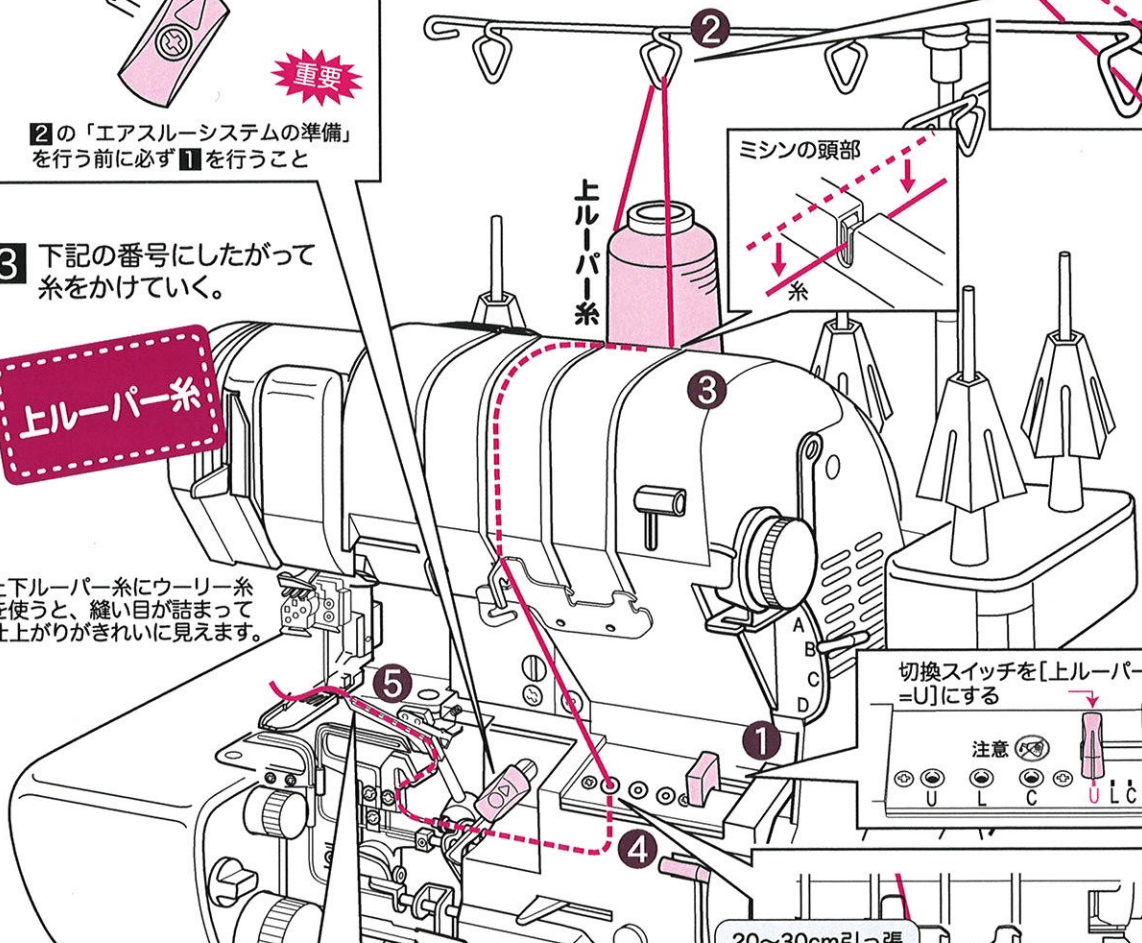
2 糸かけの前に必ず
（はずみ車の固定）
「エアルーシステムの準備」
（25ページ参照）を行う。



3 下記の番号にしたがって糸をかけていく。



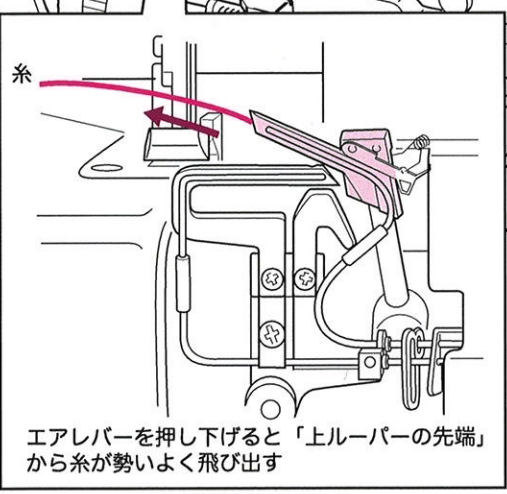
※上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。



注意

ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。



20~30cm引っ張り出してフロントカバーの内側にたためしておく

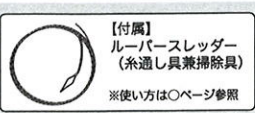
いちばん左の糸通し穴に糸の先端を約2cm挿入する

約2cm

エアレバーを強く押し下げる

ワンポイント 糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利！



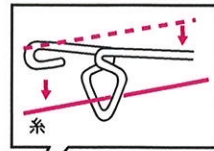
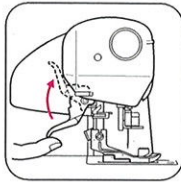
3 「固定の解除」（25ページ参照）をしてから縫い始める。**重要**

「ウェーブロック」の糸かけ

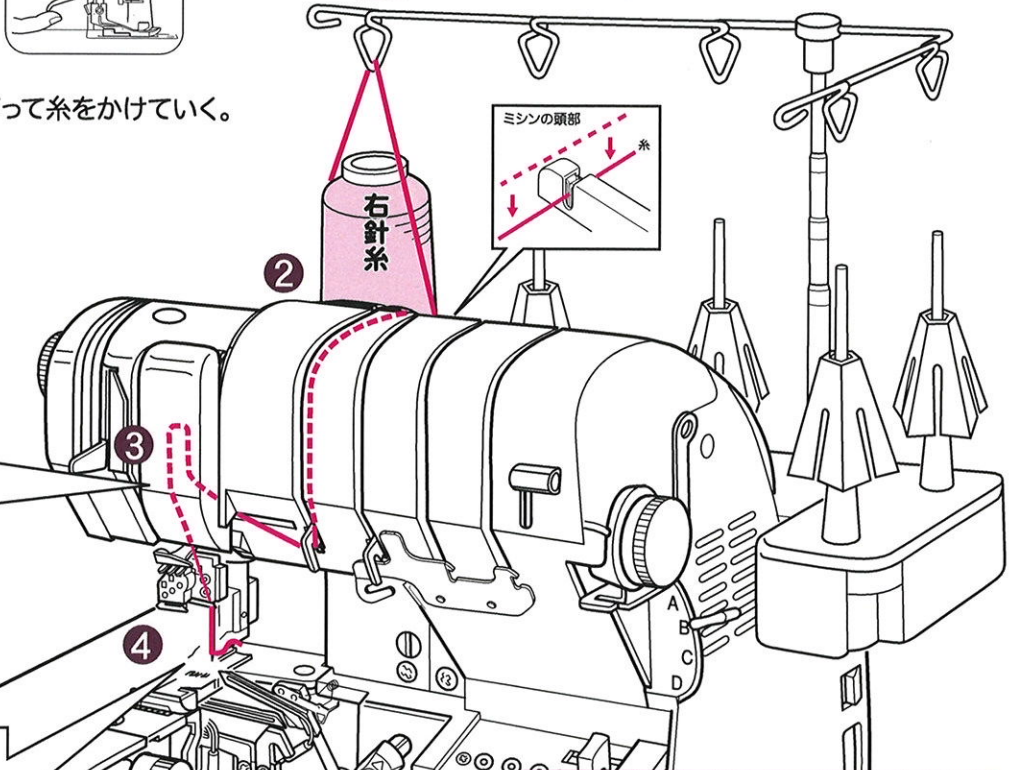
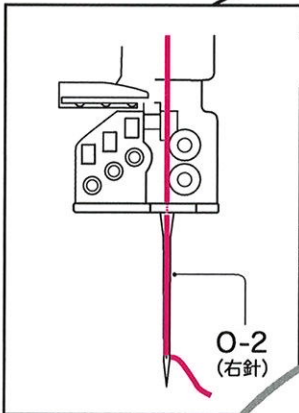
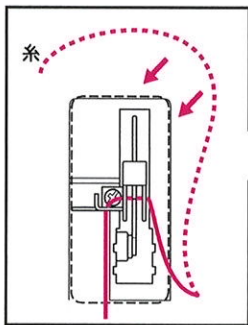
右針糸



1 押え金を上げ、針も一番上まで上げる。



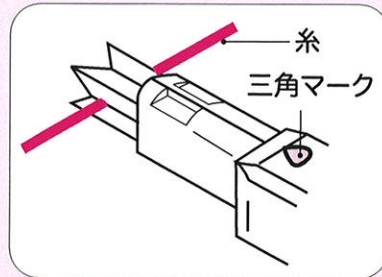
2 下記の番号にしたがって糸をかけていく。



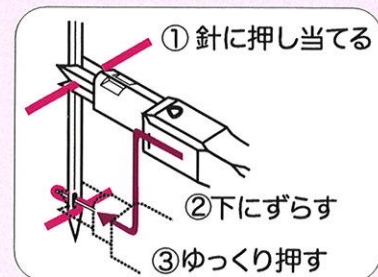
【針糸通し具の使い方】

付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。

1 糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ

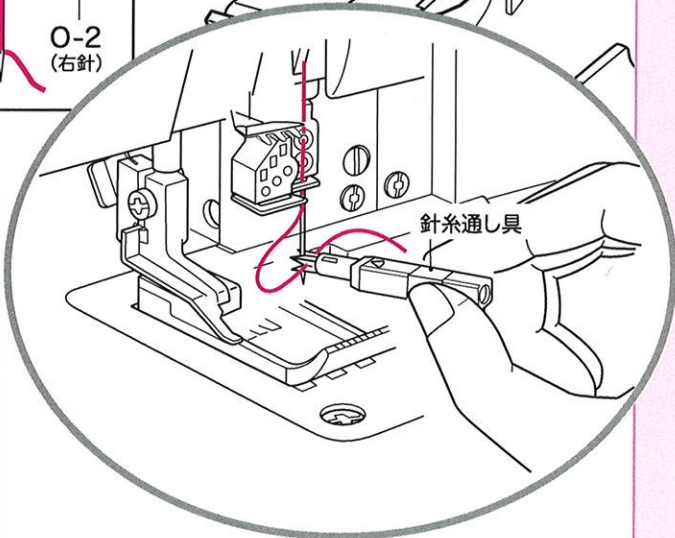


2 そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にならず、針穴まで来たらゆっくりと押す



注意
ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。



「ウェーブロック」の糸かけ

太い糸のかけ方

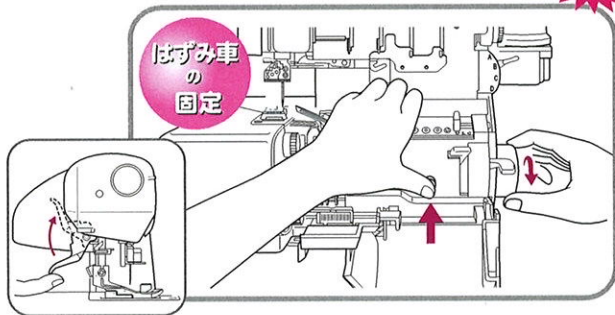
太い糸のかけ方 (極細毛糸や刺繍糸など)

【エアスルーパイプを通さない糸のかけ方】

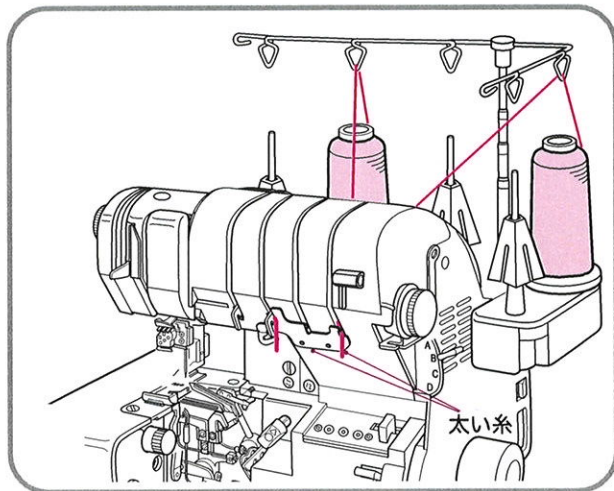
上・下ルーパー糸に、飾り糸として使われるような太い糸を使用したい場合は、エアスルーシステム (自動エア糸通し) のパイプに入らない場合があります。そのような時は下記のようにして糸を通してください。

- 1** 糸かけの前に必ず「^(はずみ車の固定)エアスルーシステムの準備」(P25参照)を行う。

重要

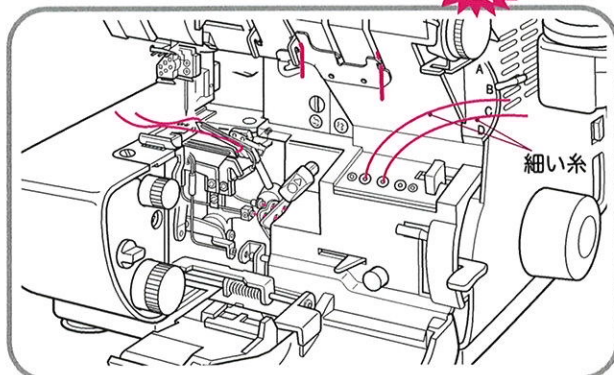


- 2** 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。(P26、27の②③参照)

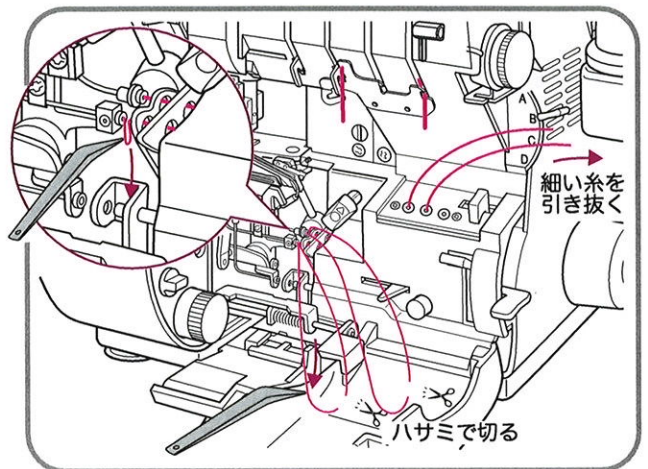


- 3** エアスルーを使って、まず細い糸を通したあと (P26、27の①④⑤参照)、「^{重要}固定の解除」を行う (P25参照)。

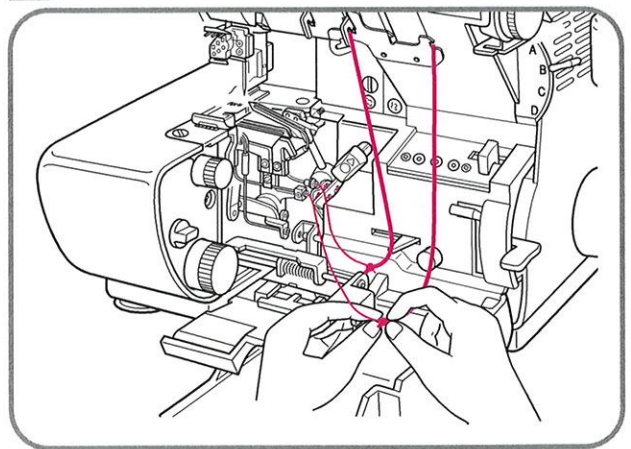
重要



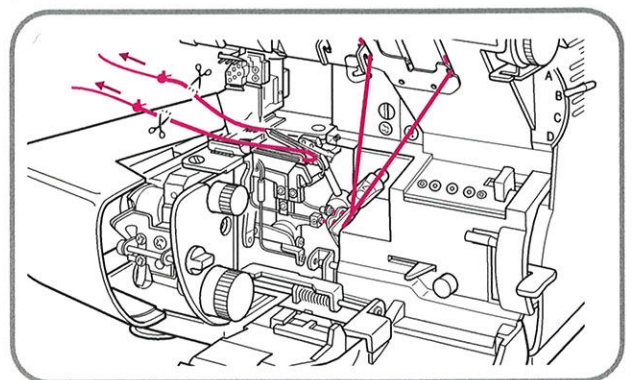
- 4** ピンセットで糸を引き出して切る。



- 5** 太い糸と細い糸を結ぶ。



- 6** 結び目を引き出して切る。



10

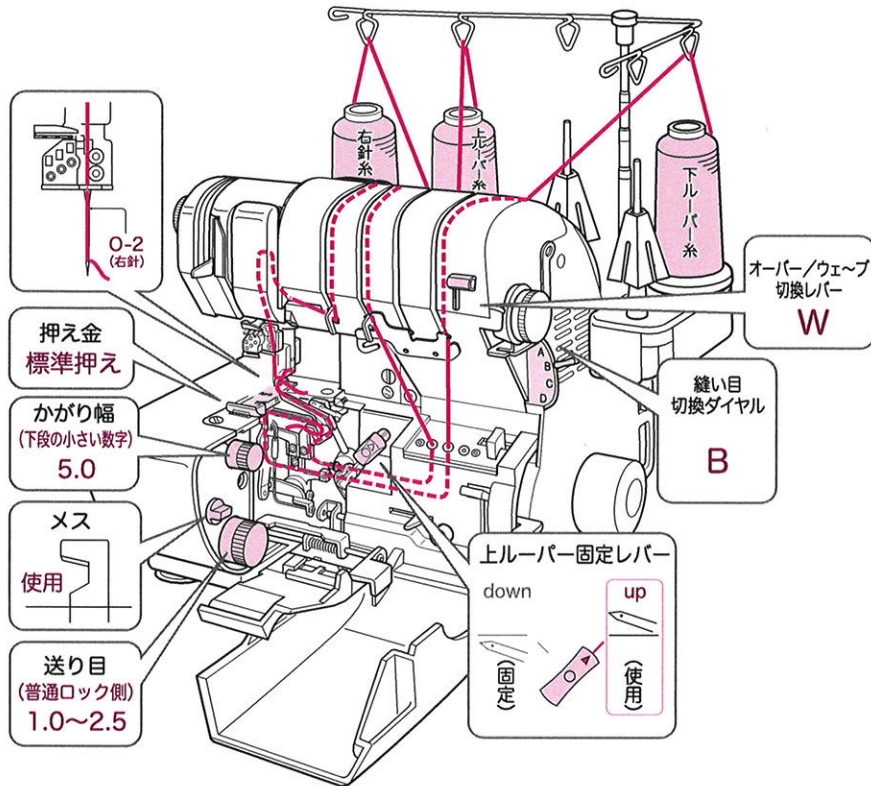
「ウェ〜ブロック」の縫い方

「ウェ〜ブロック」と「ウェ〜ブの巻きロック」の2種類の縫いができます。

ワンポイント

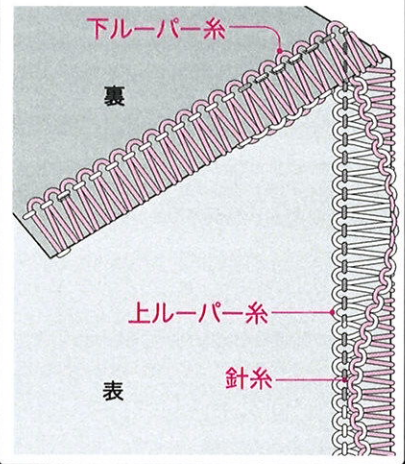
縫い目がきれいにできない場合は、溝の間にある2枚の糸調子皿から糸が、はずれていることがあります。この2枚の皿で糸をはさみ、縫い目を整えています。ここから糸がはずれるときれいな縫い目になりません。押え上げレバーを上げると、この皿が開くので、もう一度溝に糸を入れ直してください。入れ直した後、押え上げレバーを下げることを忘れないで!

10-1 「ウェ〜ブロック」の縫い方

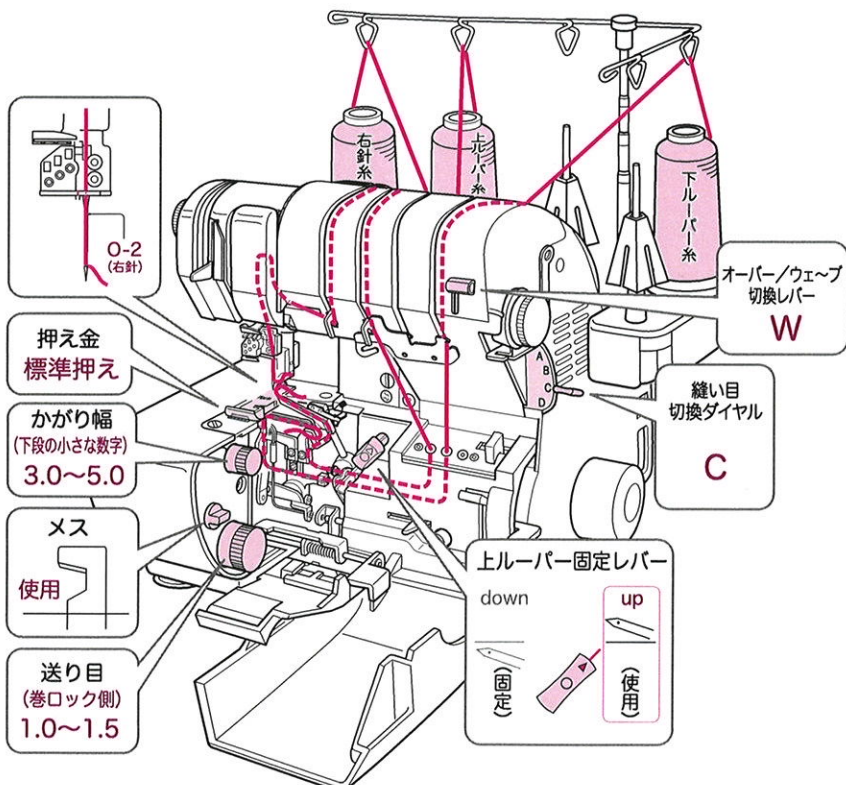


【ウェ〜ブロック】

一般的には、上ルーパー糸にラメ糸や飾り糸、下ルーパー糸にウーリー糸、針糸にスパン糸を使います。色の組み合わせによりさまざまなバリエーションが楽しめます。

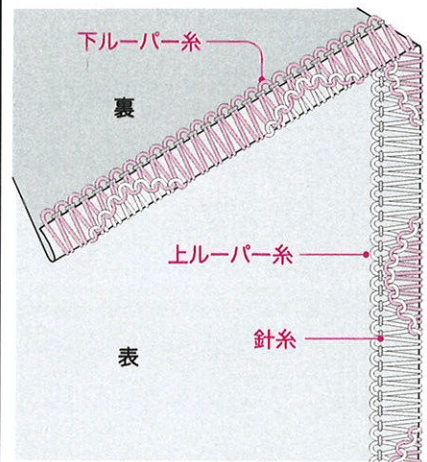


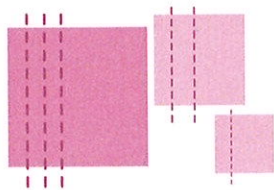
10-2 「ウェ〜ブの巻きロック」の縫い方



【ウェ〜ブの巻きロック】

オーガンジーやジョーゼットのような薄地の飾り縫いとして効果的です。





カバーステッチ編

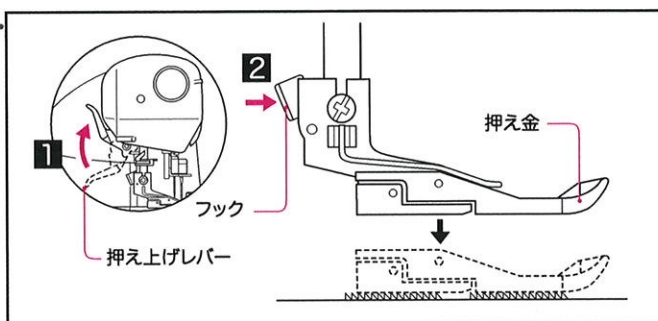
- チェーンステッチ
- カバーステッチ
- トリプルカバーステッチ

オーバーロックやウェーブブロックからチェーン/カバー/トリプルカバーステッチに切り替える場合は押え金をチェーン/カバー用押えに交換します。
その他、別売りの各種アタッチメントに交換する場合も下記のように行ってください。

押え金の取り付け・取り外し方

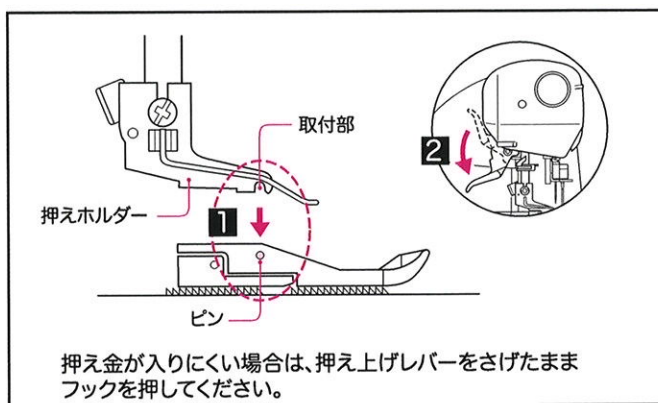
【取り外し方】

- 1 押え上げレバーで押え金を上げる。
- 2 フックを押すと押え金はずれる。



【取り付け方】

- 1 押えホルダーの取付部の真下に、押え金のピンがくるように置く。
- 2 押え上げレバーを下げる。



チェーン/カバー/トリプルカバーステッチへの切り換え

オーバーロックやウェーブブロックからチェーン/カバー/トリプルカバーステッチに切り替える場合は下記の順番に従って切り替えてください。
 ※オーバーロック・ウェーブブロックを縫う場合はすべて元に戻してください。

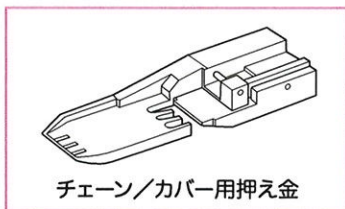
**糸かけ
全体図**

1 C側の針を付ける

- チェーンステッチは1本
- カバーステッチは2本
- トリプルカバーステッチは3本

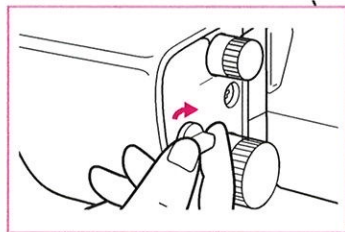
2 チェーン/カバー用押え金を付ける

付いている「標準押え」を付属の「チェーン/カバー用押え金」に付け替えます。



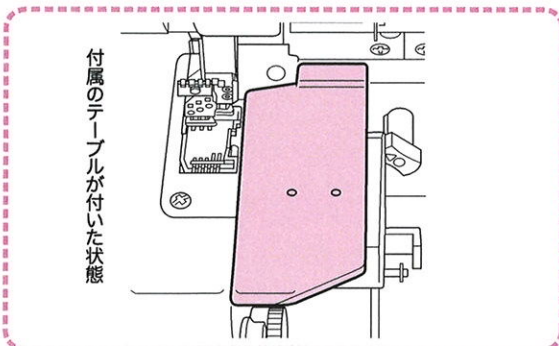
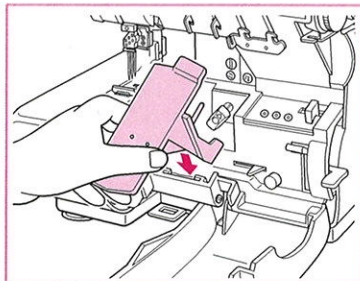
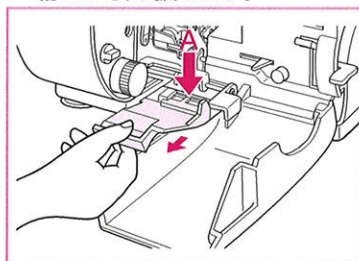
※押え金の交換方法はP31を参照ください。

3 メスをLOCK(固定)する。



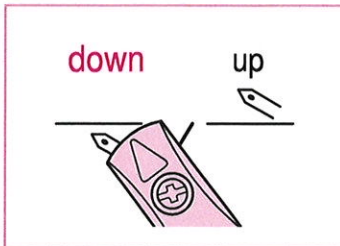
4 チェーン/カバー用テーブルに付け替える

- 1) メスカバーのAの部分を押え、
 - 2) 付属のテーブルを差し込みます。
- 静かに引き抜きます。



5 はずみ車を手で回して針を最下点にする。

6 上ルーパー固定レバーをdown(固定)にする



7 はずみ車を手で回して上ルーパーが固定されたことを確認する。

この裏側の穴も忘れないでかけてね!

この糸は上ルーパーを縫って通す。

カバーステッチ編

12

チェーン/カバー/トリプルカバーステッチの糸かけ

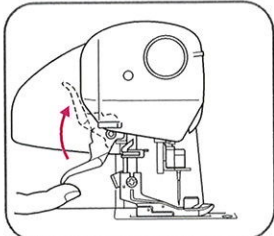
チェーン/カバー/トリプルカバーステッチは、「チェーンルーパー糸」と「チェーン針糸」で縫います。

エアスルーシステム (自動エア糸通し) の使い方

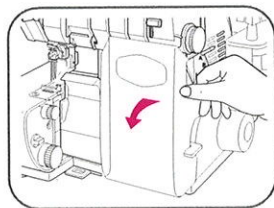
チェーンルーパーの糸かけをするときは「エアスルーシステム (自動エア糸通し)」を使います。エアスルーシステムは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。また、ルーパーの糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。

エアスルーシステムの「準備」

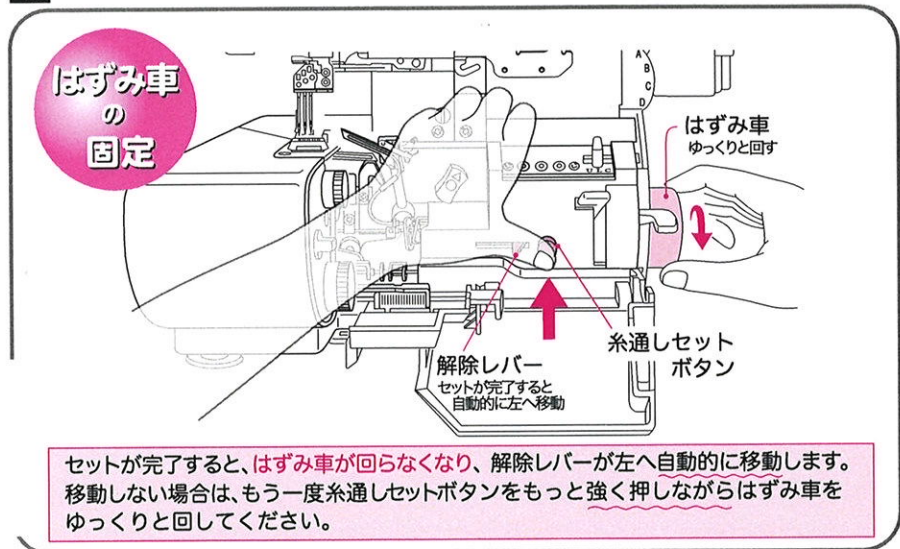
- 1** 押え上げレバーで押え金を上げる。



- 2** フロントカバーとメスカバーを開ける。



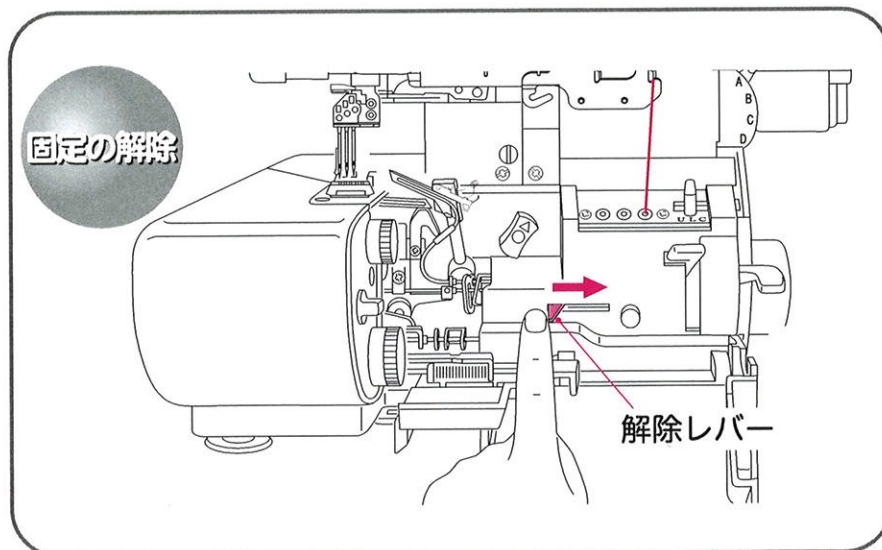
- 3** 糸通しセットボタンを押しながら、カチッと音がするまで、はずみ車を回す。



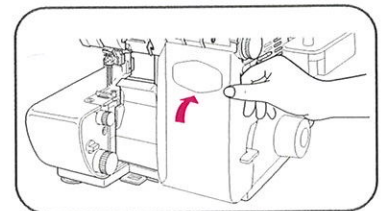
次ページにしたがって『チェーンルーパー糸』をかける

エアスルーシステムの「解除」

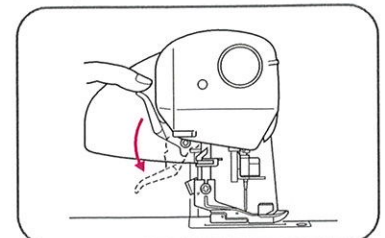
- 1** ルーパー糸をかけ終わったら、必ず解除レバーを右にスライドさせる。



- 2** メスカバー、フロントカバーを閉める。

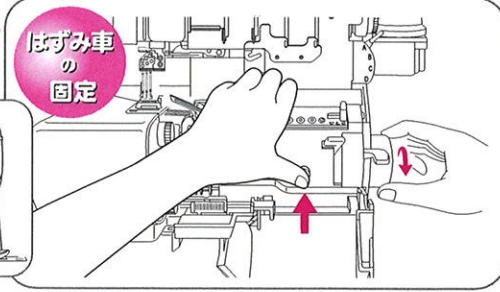


- 3** 押え上げレバーで押え金を下げる。



チェーン/カバー/トリプルカバーステッチの糸かけ

チェーンルーパー糸



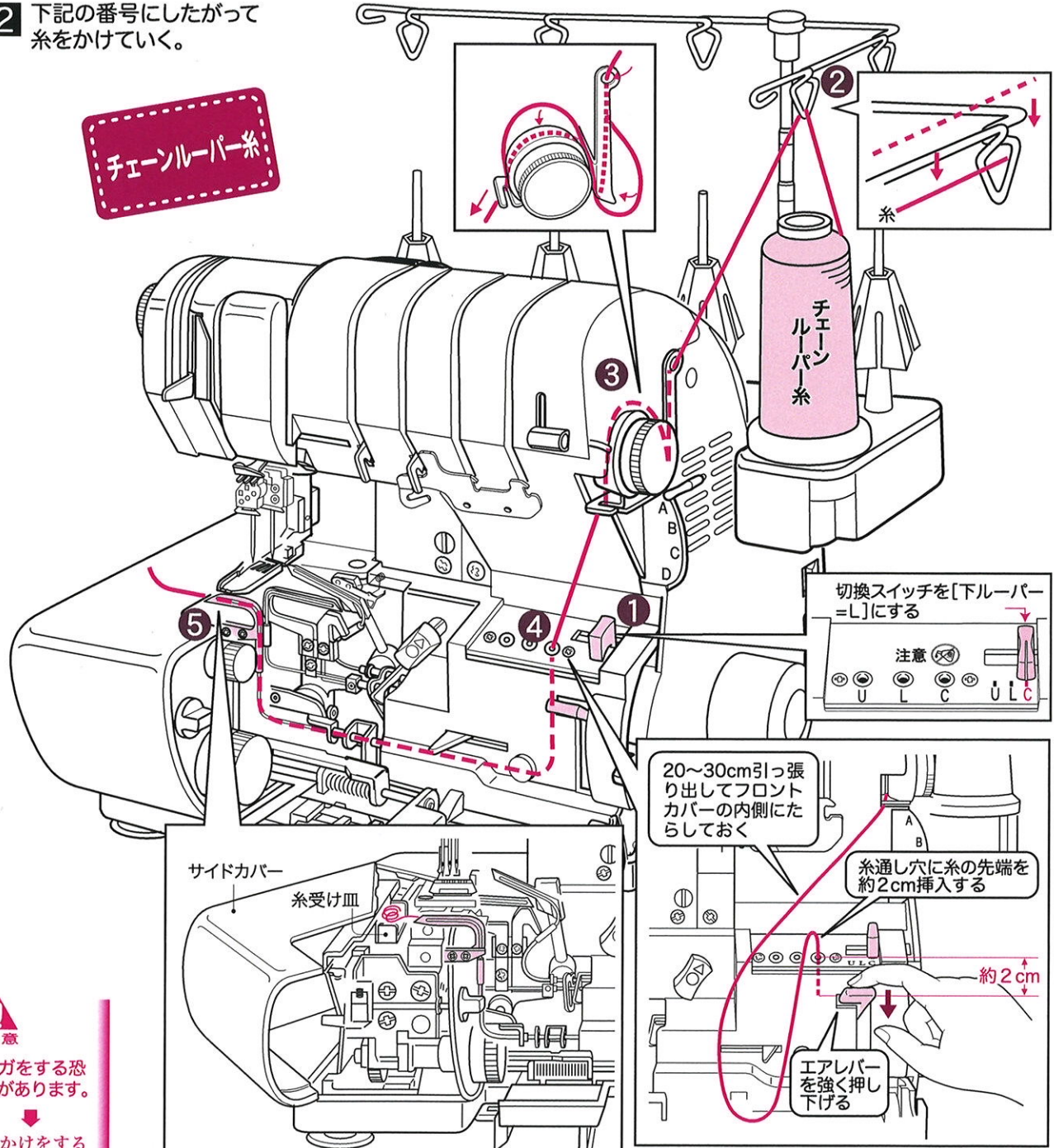
(はずみ車の固定)

1 糸かけの前に必ず「エアスルーシステムの準備」(前ページ参照)を行う。

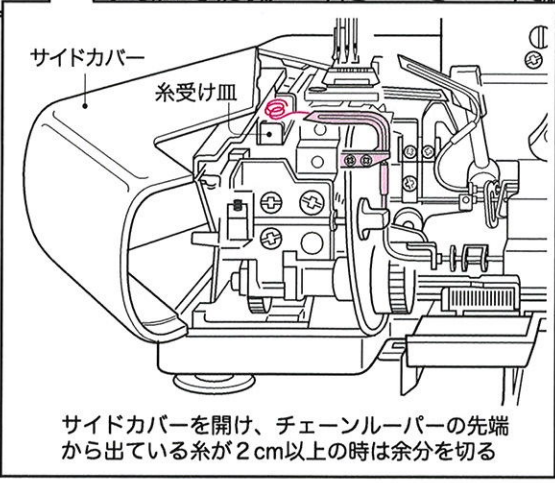
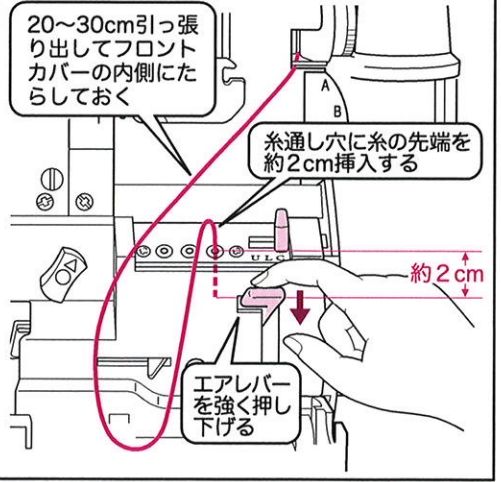
重要

2 下記の番号にしたがって糸をかけていく。

チェーンルーパー糸

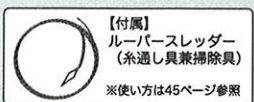


切換スイッチを[下ルーパー=L]にする
注意 (L) U L C U L C



サイドカバーを開け、チェーンルーパーの先端から出ている糸が2cm以上の時は余分を切る

ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利!



注意
ケガをする恐れがあります。
糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

ワンポイント 糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

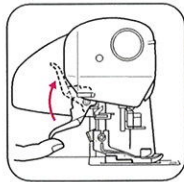
3 「固定の解除」(前ページ参照)をしてから縫い始める。**重要**

カバーステッチ編

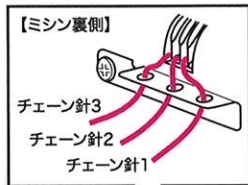
チェーン/カバー/トリプルカバーステッチの糸かけ

チェーン針糸

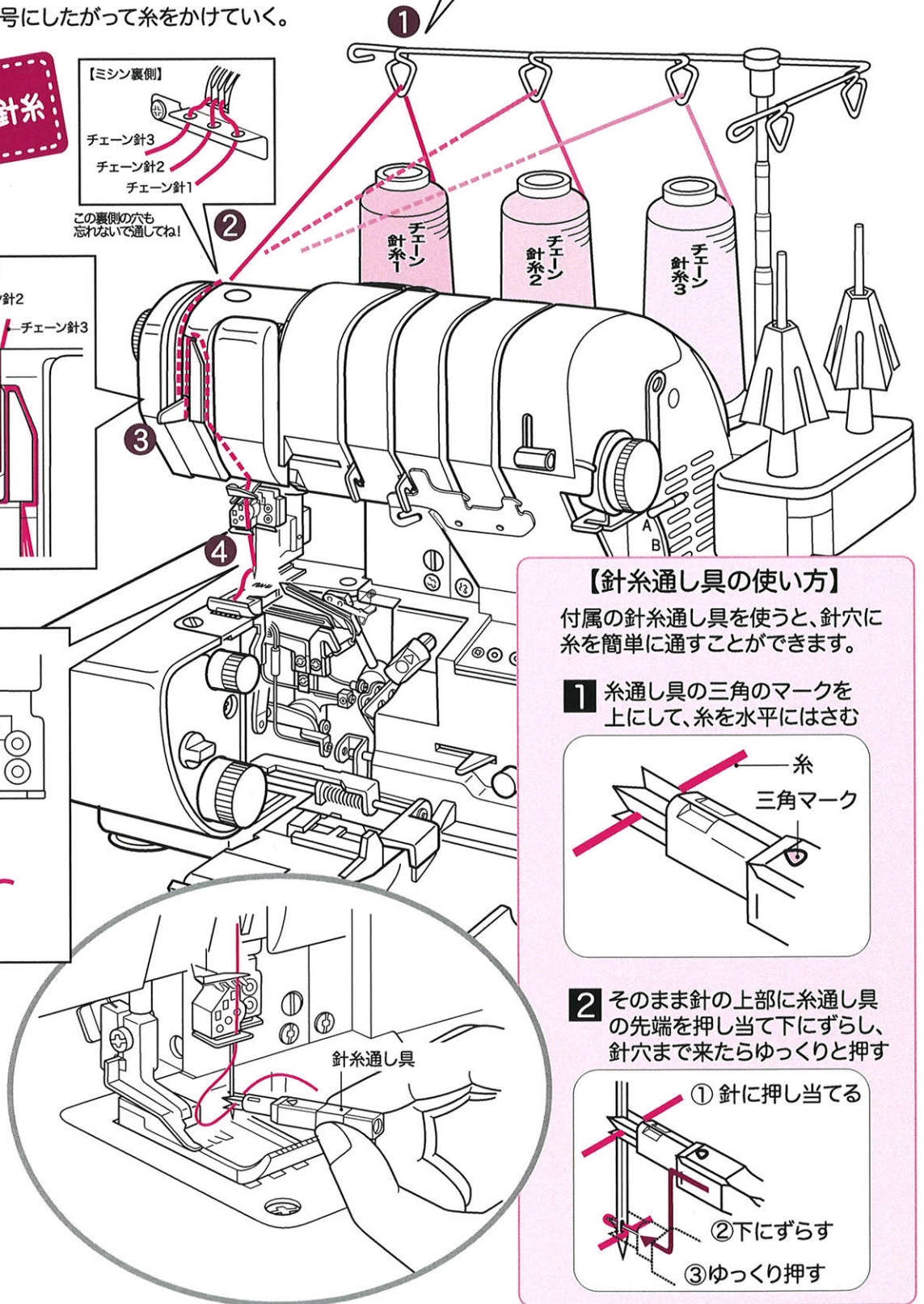
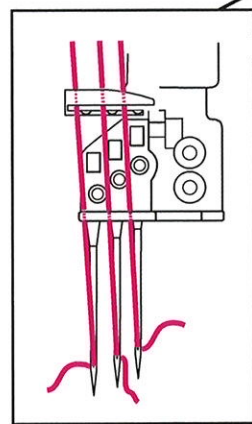
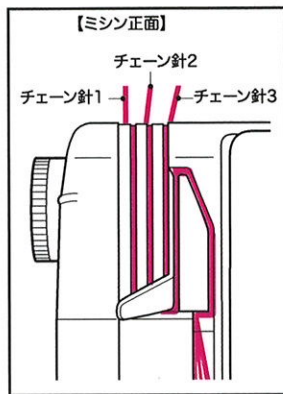
- 1** 押え金を上げ、針も一番上まで上げる。



- 2** 下記の番号にしたがって糸をかけていく。



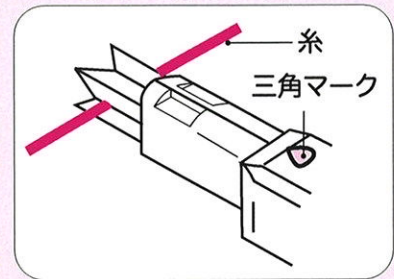
この裏側の穴も忘れないで通してね!



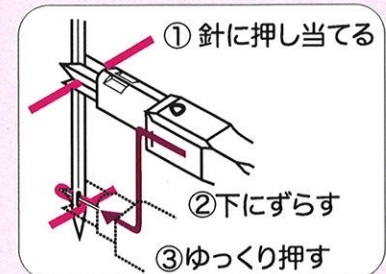
【針糸通し具の使い方】

付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。

- 1** 糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ



- 2** そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にはずらし、針穴まで来たらゆっくりと押す



注意
ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

13

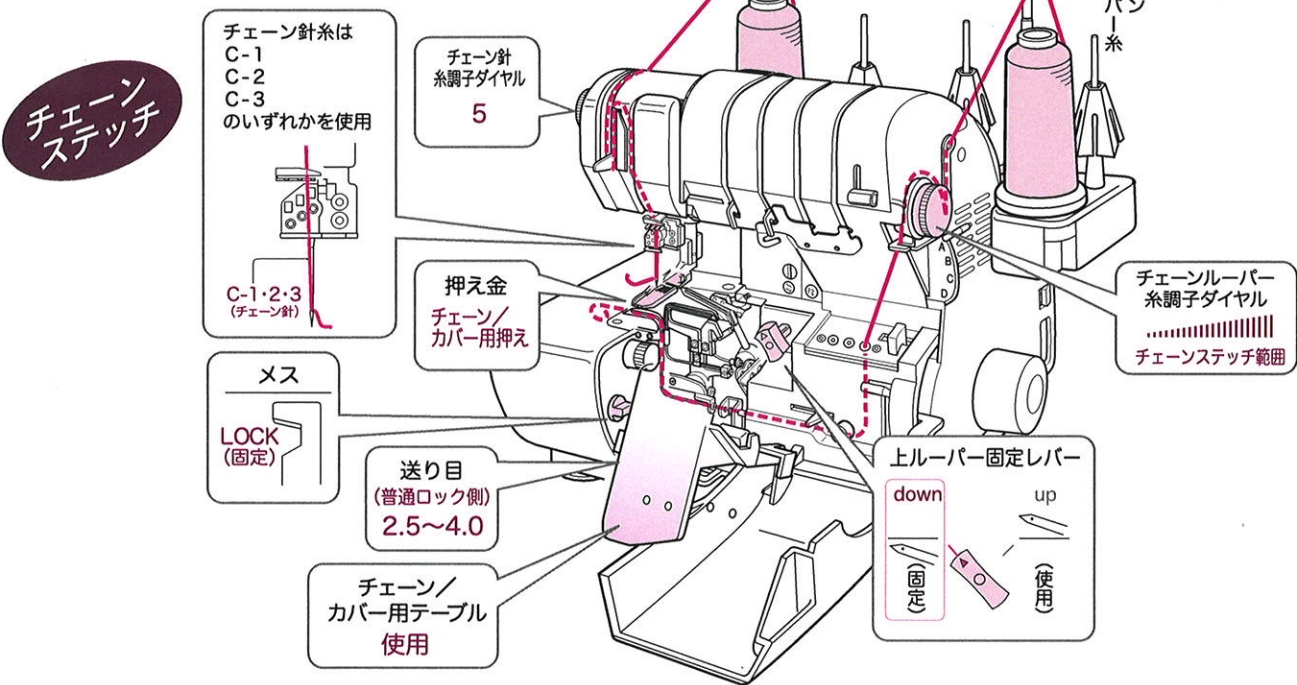
「チェーン/カバー/トリプルカバーステッチ」の縫い方

チェーンルーパー糸とチェーン針糸1本を使うと「チェーンステッチ」、チェーン針糸を2本を使うと「カバーステッチ」、チェーン針糸3本を使うと「トリプルカバーステッチ」です。

13-1 「チェーンステッチ」の縫い方

チェーンステッチは二重環縫いとも言われている縫い方で、表が直線縫いになり、裏が輪状になっています。そのため普通ミシンの直線縫いとは異なり、丈夫なうえに伸縮性もあります。ニット地などの縫い合わせ、ゴム付け、バイアステープ作りに適した縫い目です。

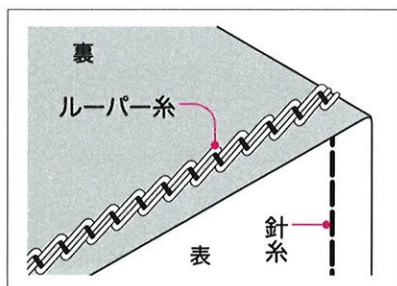
チェーンルーパー糸とチェーン針糸の2本の糸を使って縫います。(糸のかけ方はP33~35参照)



布を針落ち位置の所まで入れ、手ではずみ車を手前方向に2、3針回してから縫い始めます。(P7参照)

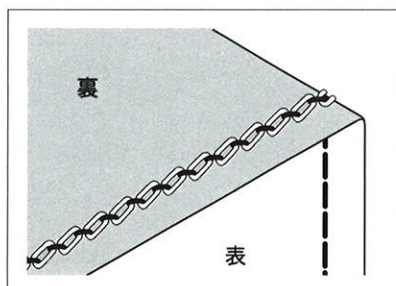
注意 チェーンステッチを縫う場合は布を針落ち位置まで入れて縫い始めてください。

■ 「チェーンステッチ」の縫い目と糸調子の合わせ方



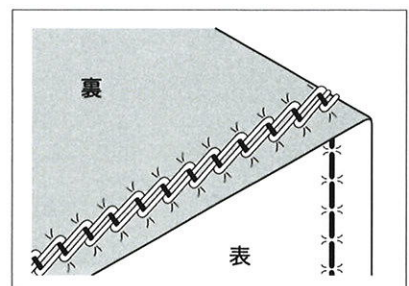
きれいな縫い目

表の縫い目が直線で、裏の縫い目が輪状(ループ)になっている。



針糸がゆるい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをチェーンステッチの範囲内で右(後ろ)方向に回す。



針糸がきつい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをチェーンステッチの範囲内で左(手前)方向に回す。

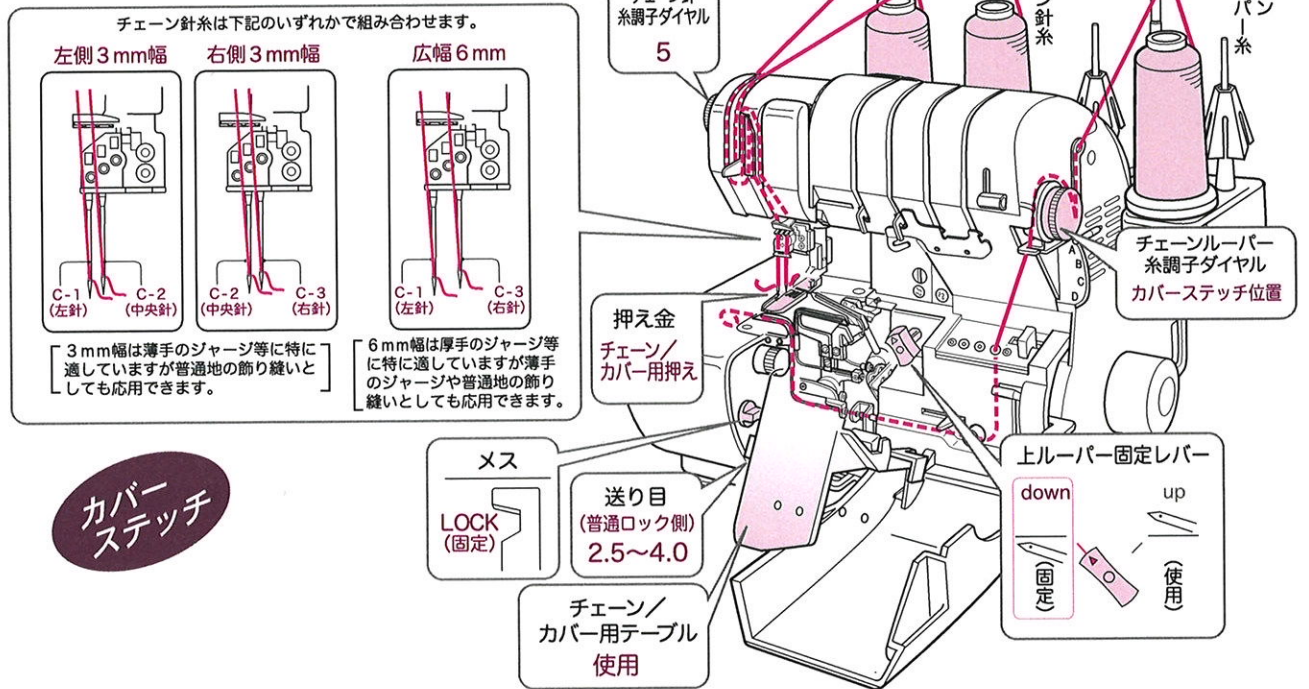
「チェーン/カバー/トリプルカバステッチ」の糸かけ

「カバステッチ」の縫い方

13-2 「カバステッチ」の縫い方

カバステッチはチェーンステッチ2本で構成され、表は2本の直線、裏は2つのループが絡んだ縫い目になります。既製品のTシャツなどの袖口や裾にこの縫い目がよく使われています。カバステッチは2本のチェーン針を使用しますが、使う針の組み合わせにより、右側3mm幅と左側3mm幅、広幅6mmの3種類の縫い方ができます。

チェーンルーパー糸とチェーン針糸2本の合計3本の糸を使って縫います。(糸のかけ方はP33~35参照)

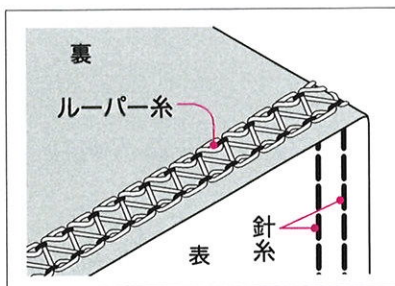


カバステッチ

布を針落ち位置の所まで入れ、手ではずみ車を手前方向に2、3針回してから縫い始めます。(P7参照)

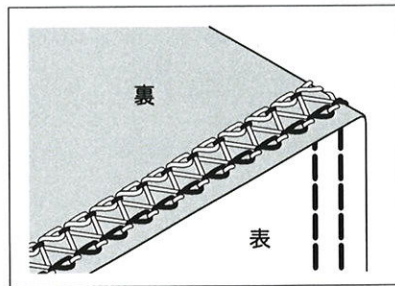
注意 チェーンステッチを縫う場合は布を針落ち位置まで入れて縫い始めてください。

■ 「カバステッチ」の縫い目と糸調子の合わせ方



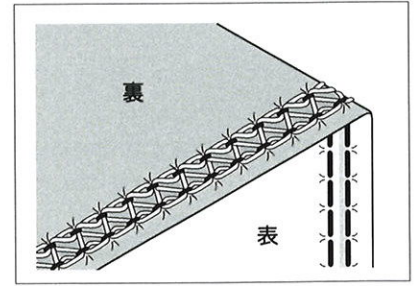
きれいな縫い目

表の縫い目が2本の直線で、裏の縫い目は輪状(ループ)が絡み合いジグザグになっている。



針糸がゆるい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバステッチの範囲内で右(後ろ)方向に回す。



針糸がきつい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバステッチの範囲内で左(手前)方向に回す。

「チェーン/カバー/トリプルカバーステッチ」の縫い方

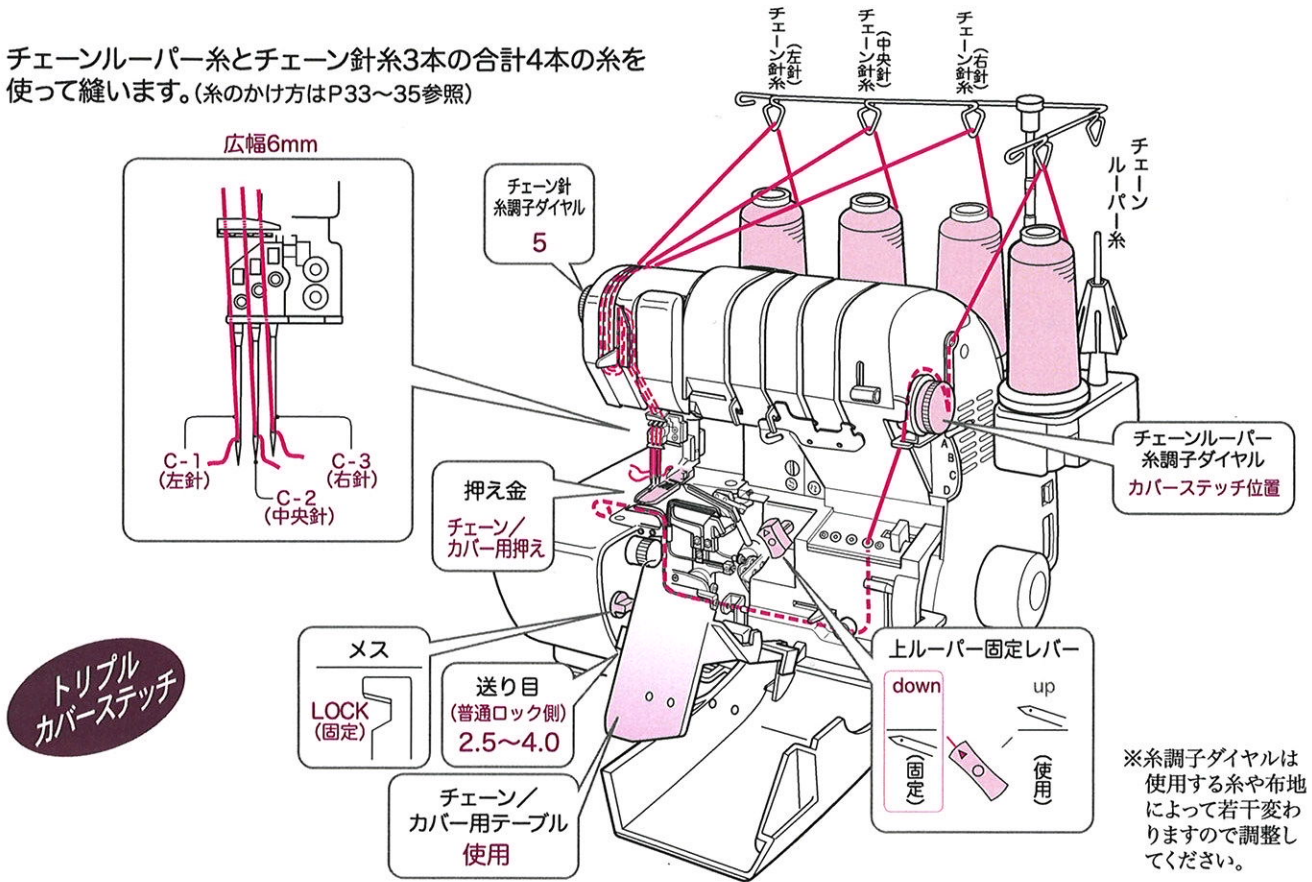
「トリプルカバーステッチ」の縫い方



13-3 「トリプルカバーステッチ」の縫い方

トリプルカバーステッチは表が3本の直線縫いになり、飾り縫い、裾始末、ゴム入れ等に適しています。

チェーンルーパー糸とチェーン針糸3本の合計4本の糸を使って縫います。(糸のかけ方はP33~35参照)



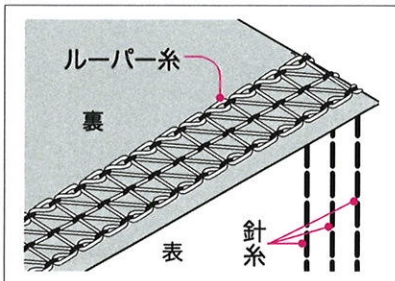
トリプルカバーステッチ

布を針落ち位置の所まで入れ、手ではずみ車を手前方向に2、3針回してから縫い始めます。(P7参照)

注意 チェーンステッチを縫う場合は布を針落ち位置まで入れて縫い始めてください。

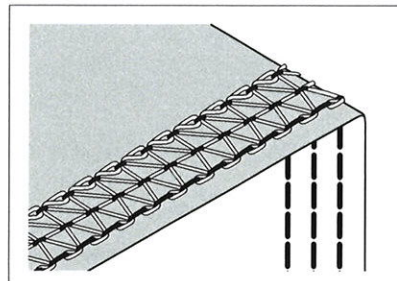
カバーステッチ編

■ 「トリプルカバーステッチ」の縫い目と糸調子の合わせ方



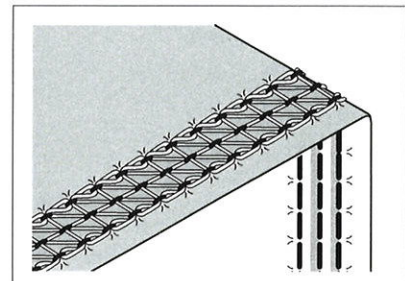
きれいな縫い目

表の縫い目が3本の直線で、裏の縫い目は輪状(ループ)がジグザグ状になっている。



針糸がゆるい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で右(後ろ)方向に回す。



針糸がきつい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で左(手前)方向に回す。

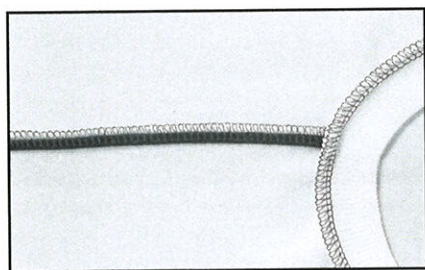
14

実用縫い

オーバーロック縫いのとき、標準押えはテープを入れながら縫うことができます。またカバーステッチで裾縫いをするとき付属の「生地ガイド」を使用すると便利です。

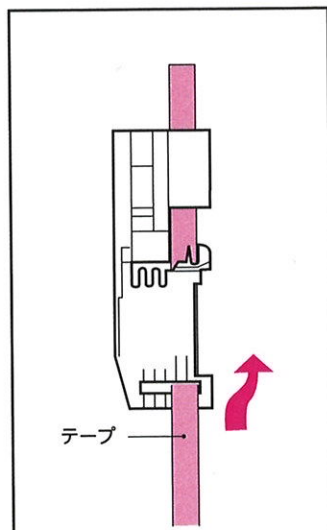
14-1 標準押えでテープを入れる

「標準押え」は、右のように縁かがり(オーバーロック)と同時に、伸び止めテープ(ウーリースピンテープ)や各種テープを入れることができます。テープの入れ方は右記の通り。



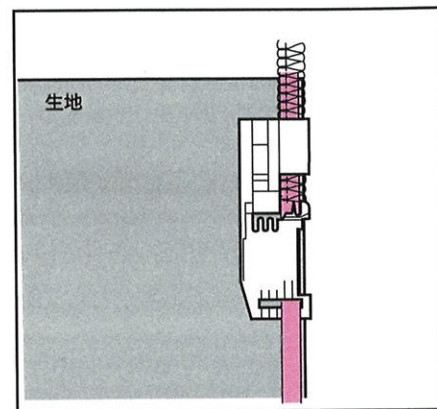
肩部分の合わせ縫いに最適

1 押え金を取り外して、テープを通しておく。

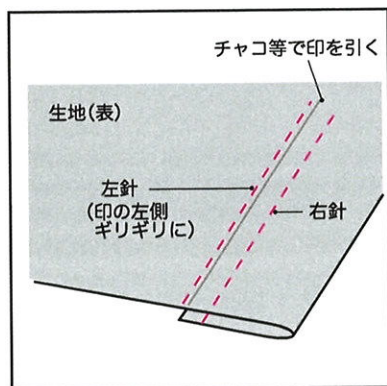


2 針を一番上に上げ、P31の押え金の【取り付け方】を参照に押え金を取り付ける。

3 空縫いしてから、生地を入れて縫い始める。



14-2 カバーステッチの裾縫い



1 まず最初に何cm折り上げるかを決める。

2 決めた分の布地を折り上げ、アイロンをかけておく。

3 折り上げた布端が布の表からわかるように、定規で測って布の表にチャコ等で印を引いておく。

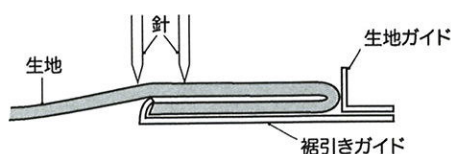
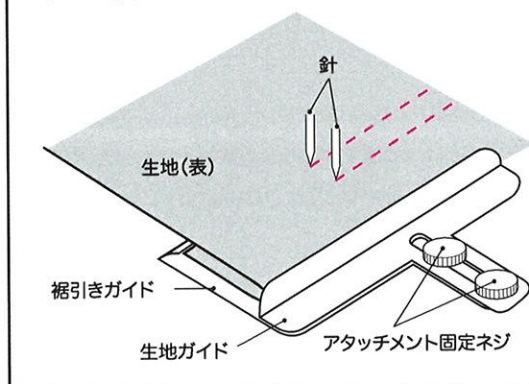
4 布の表を上にして押え金の下に置き、左針の右側ギリギリに、引いた印が来るようにする。

5 印からはずれないように縫っていく。

6 布の端まで縫い終わったら、押え金と針を上げ、注意しながら布を引き出し、糸を切る。

7 表に出ている糸は裏側へ引っ張り出し、すべての糸をまとめて結ぶ。

付属の生地ガイドと裾引きガイドを下記のようにして使うとより簡単に裾縫いができます。



※但し、カーブを縫うときなどは裾引きガイドを使用せず、生地ガイドのみの方が縫いやすいこともあります。



インターロック編

5本糸インターロック

(1本針3本糸オーバーロック+1本針2本糸チェーンステッチ)

5本糸インターロックで縫う場合は下記の順番に従って切り替えてください。

1 針

O側の左針を1本
C側の針を1本

8 かがり幅ダイヤル

上段の大きい数字
7.5mmに合わせる

7 送り目ダイヤル

【普通ロック】側の数字で合わせる

6 メスは使用

5 メスカバーを付ける
ソーイングテーブルが付いて
いればはずす

2 糸をかける (P14~18・P33~35参照)

**3 オーバーロック/
ウェーブロック切換ツマミ**

W ↓ Oに合わせる

4 縫い目切換ダイヤル

A B C D
WAVE

A: 5本糸インターロック



インターロック編

15

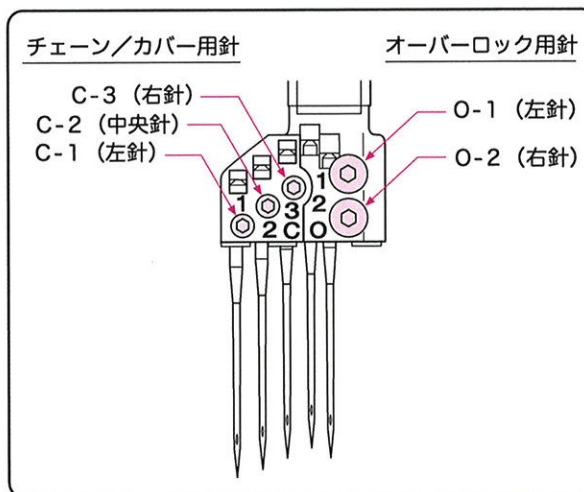
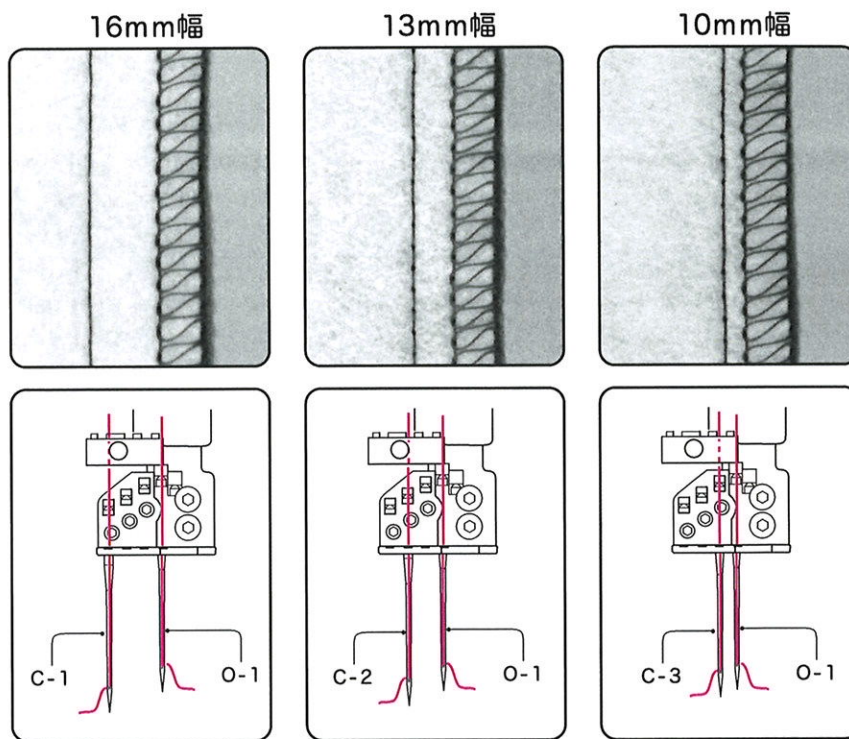
「インターロック」の縫い方

5本糸インターロックはチェーンルーパーによる縫い合わせと1本針3本糸オーバーロックによる縁かがりが同時にでき、あらゆるタイプの布の縫い合わせに最適な縫い目です。既製品の多くにこの縫い目が使われています。

15-1 「インターロック」の縫い目について

どのチェーン針糸を使用するかによって縫い代が変わってきます。

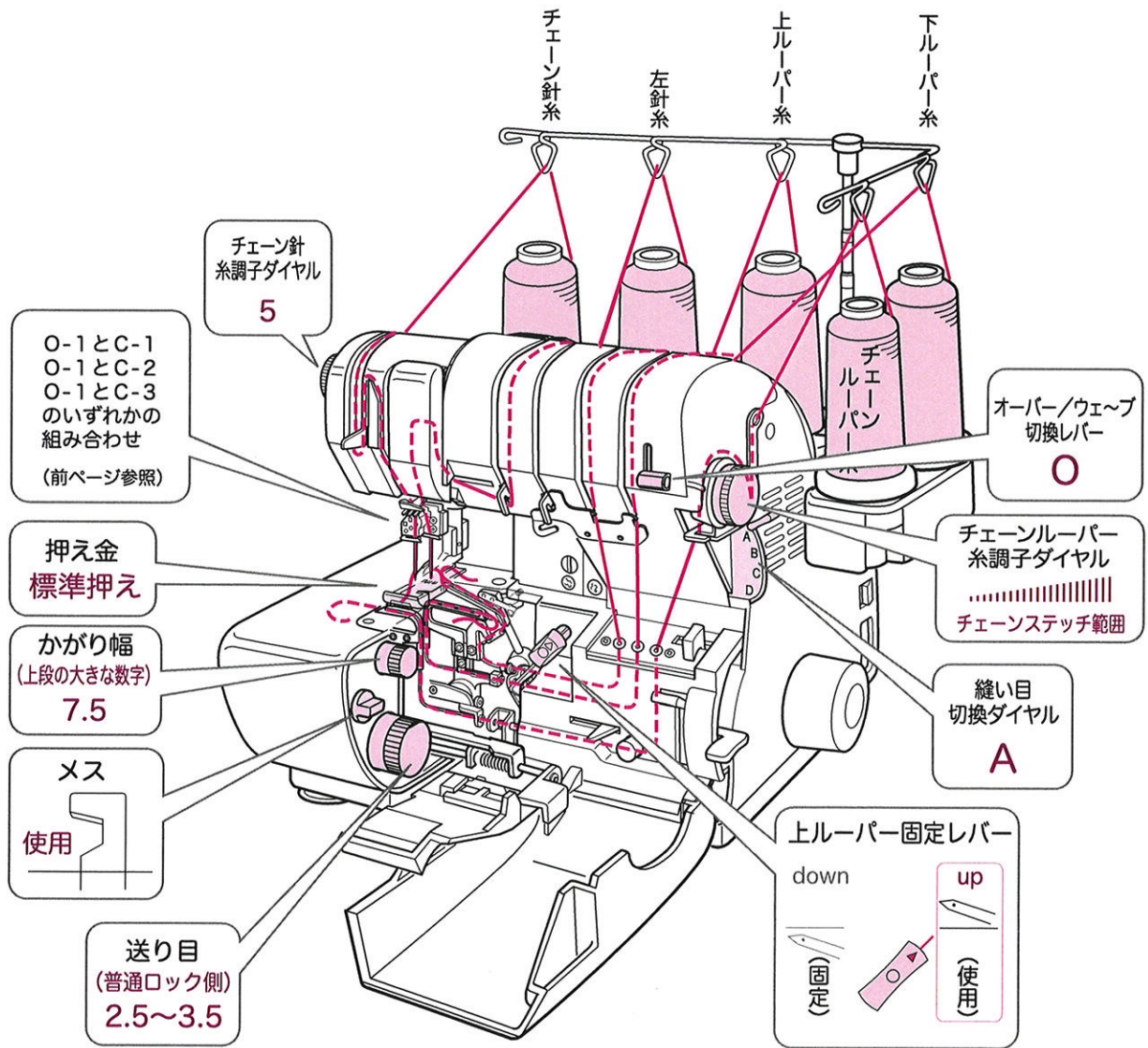
5本糸
インターロック



インターロック編



15-2 「インターロック」の縫い方



※糸調子ダイヤルは使用する糸や布地によって若干変わりますので調整してください。

メンテナンス編

通常、ロックミシンは生地を切りながら縫うため、ホコリが溜まりやすいので日頃のお掃除が大切です。また針やメスは消耗品ですので、糸切れや縫い乱れがある場合は交換してください。



16

メンテナンスについて

16-1 針の交換

針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因になります。早めに交換してください。

このミシンの針は必ず

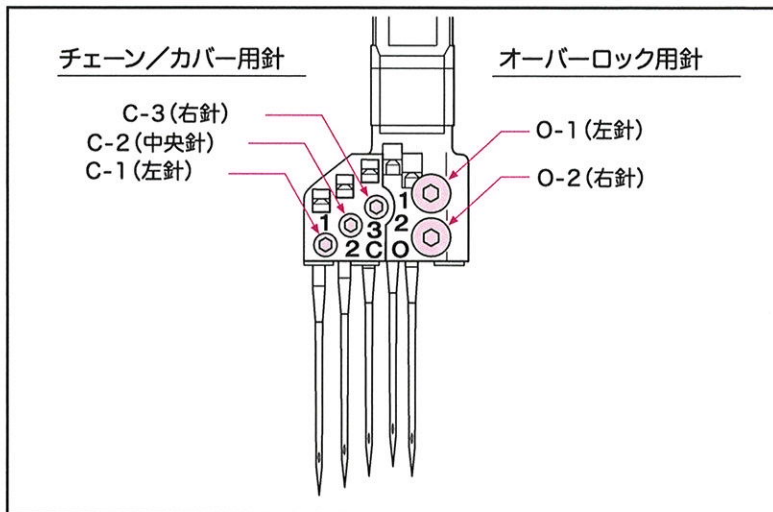
EL×705 #14または#12

をご使用ください。

この針以外は使用できません。

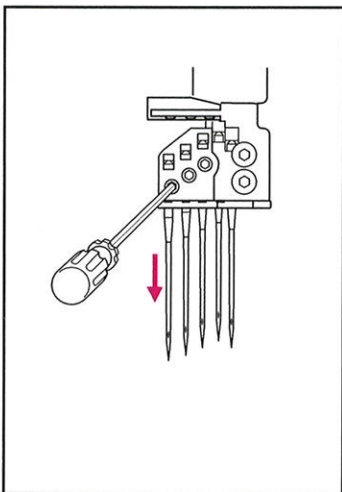
注意 ケガをする恐れがあります。

針の交換をする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

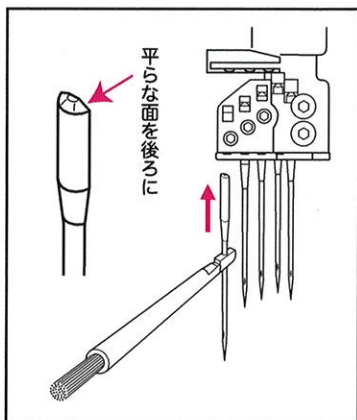


1 はずみ車を回して、針を一番上まで上げる。

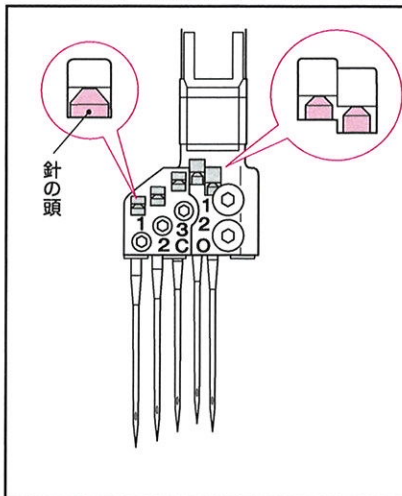
2 付属の六角ドライバーで針止めネジをゆるめて、針はずす。



3 新しい針を付属の掃除用ブラシに差し込み「針頭部の平らな面」が後ろ向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込む。

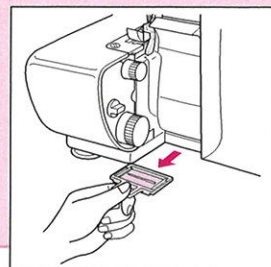


4 確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから、針止めネジをしめる。



ワンポイント

針をメスカバーの奥に落とした場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。



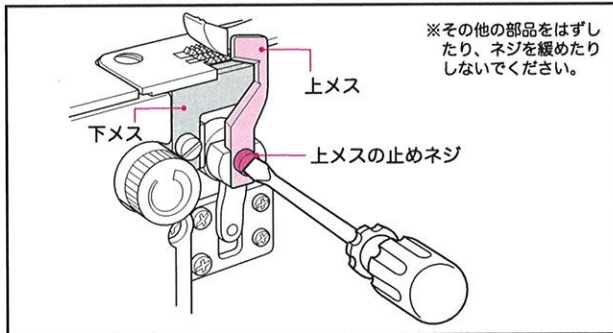
メンテナンスについて

メスの交換/掃除と注油について/ルーパースレッダーの使い方

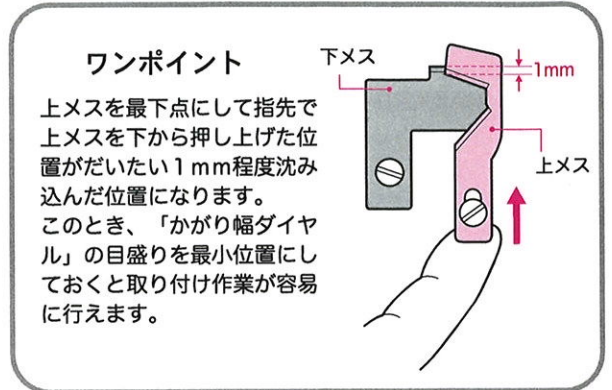
16-2 メスの交換

メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常「上メス」を交換してください。

- 1 フロントカバーとメスカバーを開く。
- 2 はずみ車を回して、上メスを最下点にする。
- 3 上メスの止めネジをゆるめて、上メスをはずす。



- 4 新しい上メスを取り付け、下メスに対して、上メスの刃先が1mm程度沈み込んだ位置で上メス止めネジをしめる。



16-3 掃除と注油について

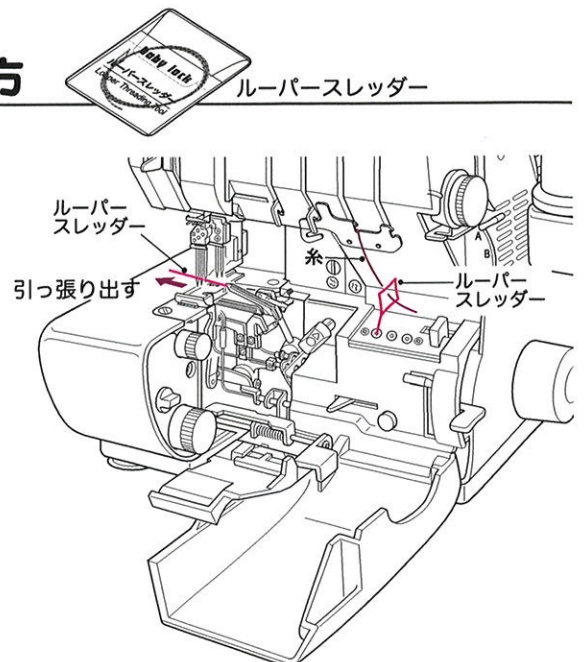
このミシンは特殊な材質を使用しているため油を注す必要はありませんが、切りながら縫うことが多いため、切りクズがたまります。掃除機を使って埃を吸い取るか、付属の掃除用ブラシを使って払ってください。また、音が高くなったりした場合は、駆動部（動いている部分）に1～2滴、ミシン油を注してみてください。

注 エアスルーシステムのパイプの穴部分には絶対に油を入れないでください。

16-4 ルーパースレッダーの使い方

“エアスルーシステム”のパイプの掃除具として、また「糸通し穴」に特に入りにくい糸を通す糸通し具として、使用すると便利です。

- 1 **掃除具として**
「糸通し穴」から『ルーパースレッダー』を差し込み、ルーパースレッダーの先端から出てきたら引っ張り出します。パイプにたまった糸クズが取れます。
- 2 **糸通し具として**
『ルーパースレッダー』の輪に、通したい糸を数cm入れ、1と同様に「糸通し穴」に差し込んで、ルーパースレッダーの先端から引っ張り出します。



16-5 修理を依頼される前に

マシンが動かない等の異常がありましたら、修理を依頼される前に下記のことをご確認ください。

状 況	確認内容	参照ページ
マシンが動かない！	<input type="checkbox"/> 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 <input type="checkbox"/> 照明ライトスイッチが [I] になっていますか。 <input type="checkbox"/> はずみ車の「固定の解除」がされていますか。	6 6 14,25,33
まったく縫えない！	<input type="checkbox"/> 押え金下がっていますか。	14,25,33
オーバーロックがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> オーバー／ウェーブ切替ツマミが [O] になっていますか。 <input type="checkbox"/> 4本糸ロックでは縫い目切換ダイヤルが [A] になっていますか。 <input type="checkbox"/> 3本糸・2本糸ロックでは縫い目切換ダイヤルが [B] になっていますか。 <input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [普通ロック] 側の数字になっていますか。 <input type="checkbox"/> 糸調子皿から糸がはずれていませんか。 <input type="checkbox"/> あこ〜でおんレバーの位置は適切ですか。	13 19 19,22 9 19 11
巻きロックがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> オーバー／ウェーブ切替ツマミが [O] になっていますか。 <input type="checkbox"/> 縫い目切換ダイヤルが [C] または [D] になっていますか。 <input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [巻きロック] 側の数字になっていますか。 <input type="checkbox"/> かがり幅ダイヤルが [M] になっていますか。 <input type="checkbox"/> あこ〜でおんレバーの位置は適切ですか。	13 20 9 9 11
ウェーブロックがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> 1本針3本糸になっていますか？ <input type="checkbox"/> オーバー／ウェーブ切替ツマミが W になっていますか。 <input type="checkbox"/> 縫い目切換ダイヤルが [W B] ウェーブまたは [W C] ウェーブの巻きロックになっていますか。 <input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [W B] のときは普通ロック側の数字 [W C] のときは巻きロック側になっていますか。 <input type="checkbox"/> 糸調子皿から糸がはずれていませんか。	24 24 30 30 30
チェーン／カバーステッチがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> 糸かけが間違っていないですか。 <input type="checkbox"/> 糸調子がバランス良くとれていますか。 <input type="checkbox"/> あこ〜でおんレバーの位置は適切ですか。 <input type="checkbox"/> 布を針の下へ置いてから縫い始めていますか。	34,35 36~38 11 7,8
目とび、糸切れがする！	<input type="checkbox"/> 針は指定の [E L x 7 0 5 # 12 または # 14] がついていますか。 <input type="checkbox"/> 針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。 <input type="checkbox"/> 曲がったり、針先が磨耗している針がついていませんか。 <input type="checkbox"/> 糸かけが間違っていないですか。 <input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。 <input type="checkbox"/> 古い糸を使用していないですか。	44 44 44 15~18,26~29,34~35 15~18,26~29,34~35 6
メスが布地を切らない！	<input type="checkbox"/> メスロックダイヤルが [LOCK (固定)] になっていませんか。 <input type="checkbox"/> 上メスが磨耗していませんか。	10 45
エアレバーを押しても糸が通らない！	<input type="checkbox"/> 「はずみ車の固定」がされていますか。 <input type="checkbox"/> ルーバー糸通し上下切替スイッチの位置は正しいですか。 <input type="checkbox"/> 糸通し穴に糸が1~2cm挿入されていますか。 <input type="checkbox"/> 糸通し穴の手前で糸を20cmほどたるませていますか。 <input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。 <input type="checkbox"/> パイプの中にゴミがたまっていませんか。	14,25,33 15,16,26,27,34 15,16,26,27,34 15,16,26,27,34 15,16,26,27,34 45

アフターサービスについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

縫工房 wave



仕様

- 縫い型式：2本針4本糸オーバーロック
1本針3本糸オーバーロック
1本針2本糸オーバーロック
1本針3本糸ウェーブロック
1本針2本糸チェーンステッチ
3本針4本糸カバーステッチ
2本針3本糸カバーステッチ
2本針5本糸インターロック
- オーバー/ウェーブ
ロックのかがり幅：2本針4本糸ロック5.5～7.5mm
1本針3本糸ロック3.0～7.5mm
巻きロック1.5mm(標準)
- カバーステッチ幅：3mmと6mm
- 送り目(縫い目長さ)：1～4mm
- 差動比率：0.6～2.0
(伸ばし・縮みの比率)
- メス上下量：6.5mm
- 押え上がり量：4.5mm
- 送り歯高さ：0.7mm(標準)
- 縫い速度：毎分1,500針(常用)
- 使用針：EL×705(#12, #14)
- 使用糸本数：5本、4本、3本、2本
- 消費電力：120W(照明ライト含む)
- 照明ライト：100V15W
- ミシンの大きさ：奥行280mm幅340mm高さ290mm
- ミシンの重さ：8.5kg(モーター付完成品)

仕様の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

baby lock

株式会社 **ジューキ** <http://www.babylock.co.jp>

本社/〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL03(3265)2851(代表)

札幌 011(737)6821 新潟 0250(43)4451 東京 03(3265)8741

名古屋 052(917)3671 大阪 06(6768)3651 広島 082(227)5781

福岡 0942(44)7921 修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ
お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
TEL			